

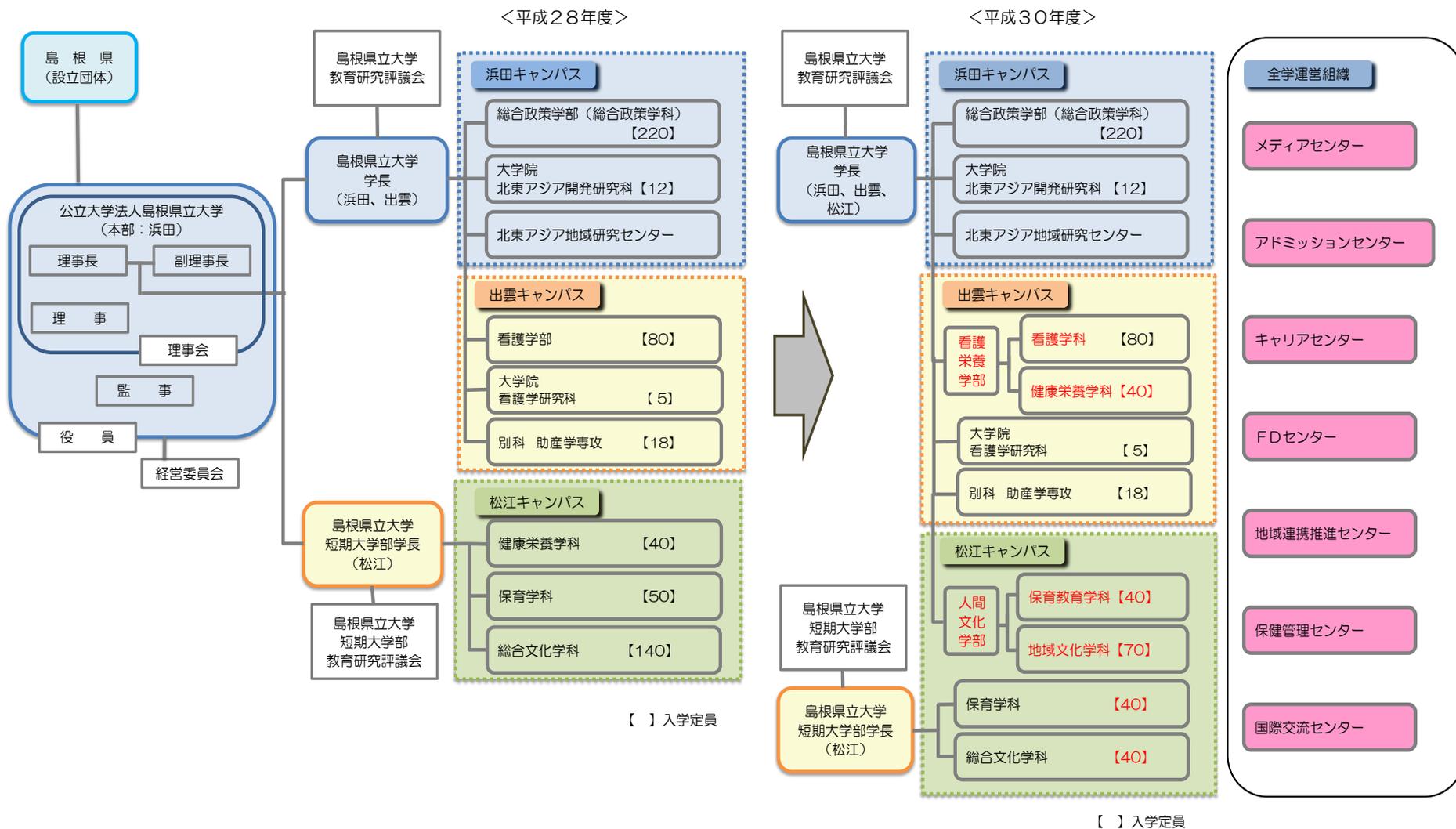
島根県立大学の現状

平成29年5月

I	組織及び沿革	・・・P 3
II	大学を巡る状況の変化	・・・P 8
III	県立大学の目標	・・・P13
IV	県立大学の現状	・・・P16
	1. 教育	・・・P18
	2. 研究	・・・P34
	3. 地域貢献	・・・P40
	4. 国際交流	・・・P45
	5. 外部評価	・・・P48
V	島根県立大学浜田キャンパス 将来構想検討結果報告書	・・・P50

I 組織及び沿革

公立大学法人島根県立大学組織図



全学運営組織

全学組織	主な業務
メディアセンター	図書館運営、情報基盤整備、語学教育支援
アドミッションセンター	入学者選抜の実施、受入れ方針の策定、入学者選抜に関する調査研究、学生募集・広報活動
キャリアセンター	キャリア教育・進路・就職の支援
FDセンター	活力・魅力ある大学作りのための、教員の授業能力向上 FD・・・(ファカルティ・ディベロップメント(Faculty Development)) 教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取組みの総称
地域連携推進センター	大学が地域社会との連携を深め、地域活性化に貢献するために設けられた、地域と大学をつなぐ総合窓口
保健管理センター	学生の健康管理・健康保持促進
国際交流センター	短期海外研修や留学、海外からの留学生の受入れ、留学生と本学学生との交流など、学生が国際人としての素養を身につけるための取組み

浜田キャンパス

年	浜田キャンパス
H 5	島根県立国際短期大学開学(～H13)(国際文化学科100名)
H12	島根県立大学開学 (総合政策学部総合政策学科200名、3年次編入10名)
H15	大学院設置 (北東アジア研究科博士前期課程6名、後期課程6名、開発研究科修士課程10名)
H19	公立大学法人島根県立大学設立 入学定員変更 (総合政策学科220名、3年次編入15名)
H21	大学院北東アジア開発研究科設置 (博士前期課程北東アジア専攻5名、地域開発政策専攻5名、博士後期課程北東アジア超域専攻2名)
H22	大学院開発研究科廃止
H25	大学院北東アジア研究科廃止
H27	入学定員変更 (総合政策学科3年次編入10名程度)

出雲キャンパス

年	出雲キャンパス
S26	島根県立看護学院設立(2年課程)
S28	島根県立高等看護学院に昇格(3年課程)
S29	島根県立保健婦専門学院設立(~S59)
S32	島根県立中央病院附属高等看護学院に改称
S42	島根県立高等看護学院に改称
S49	島根県立出雲高等看護学院に改称
S57	島根県立総合看護学院に改称 助産学科新設
S59	保健婦専門学院と統合 保健学科、助産学科、看護学科
H 7	島根県立看護短期大学開学 (看護学科80名)
H10	専攻科設置(地域看護学専攻30名・助産学専攻15名)
H19	公立大学法人島根県立大学設立 島根県立大学短期大学部設立 (看護学科80名、地域看護学専攻30名、助産学専攻15名)
H24	島根県立大学看護学部開設 (看護学科80名、3年次編入6名程度) 地域看護学専攻を公衆衛生看護学専攻に改称
H27	別科設置(助産学専攻18名)
H28	大学院設置(看護学研究科5名)
H30 (予定)	看護栄養学部の設置 (看護学科80名、健康栄養学科40名)(仮称)

松江キャンパス

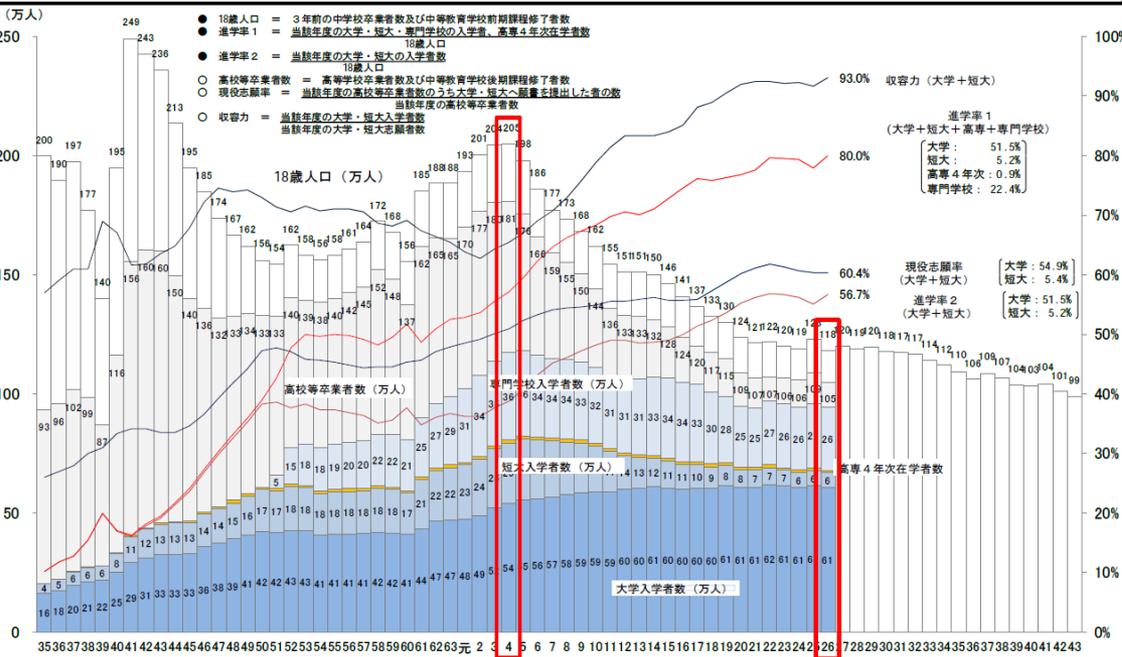
年	松江キャンパス
S21	島根県立松江女子専門学校(～S29) 保健科・被服科
S28	島根県立保育専門学校(～S49)
	島根農科大学女子家政短期大学部開学 家政科(生活専攻25名・被服専攻25名)
S36	島根女子短期大学に改称
S39	島根県立島根女子短期大学に改称
S40	家政科生活専攻を食物専攻に改称 定員変更(食物専攻40名・被服専攻40名)
S48	保育科設置(定員50名)
S60	被服専攻を生活科学専攻に改組
S63	文学科設置(国文専攻50名・英文専攻50名)
H19	公立大学法人島根県立大学設立 島根県立大学短期大学部設立 (健康栄養学科40名、保育学科50名、総合文化学科140名)
H30 (予定)	【四大化】人間文化学部の設置(保育教育学科40名、地域文化学科70名)(仮称) 【短大部】定員変更(保育学科40名、総合文化学科40名)、健康栄養学科の廃止

Ⅱ 大学を巡る状況の変化

1. 18歳人口の急激な減少の中、県内外から優秀な人材の継続的な確保を可能とする魅力ある大学づくりが必要

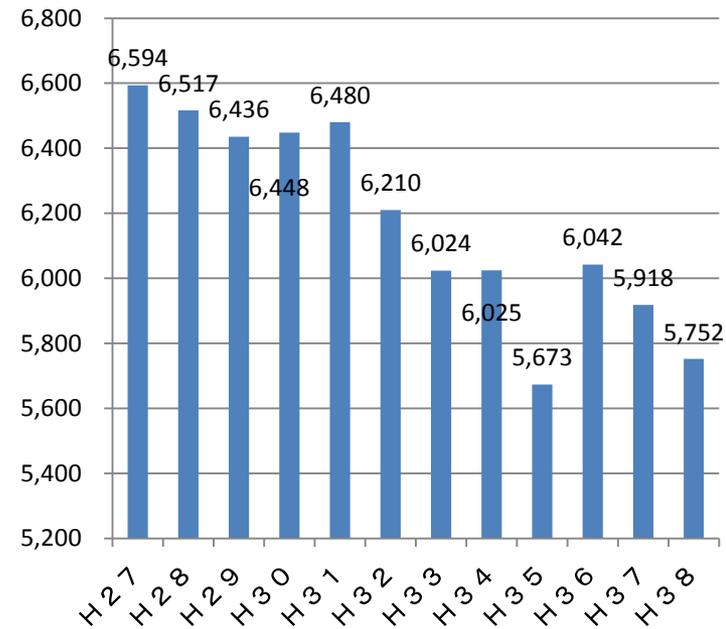
18歳人口と高等教育機関への進学率等の推移

- 18歳人口は、平成21～32年頃までほぼ横ばいで推移するが、平成33年頃から減少することが予測されている。（18歳人口について、平成4年度：205万人→平成26年度：118万人）
- 高等教育機関への進学率は、ここ数年頭打ち。



出典：文部科学省作成資料を基に、内閣府作成

単位：人 県内18歳人口(予測)



2. 地方創生の取組みの中、広い視野を持ちつつ地域社会に貢献する人材の養成・輩出が求められている

○島根県総合戦略

重要業績評価指標 (KPI)	単位	H26年度 実績	H27年度 実績	H31年度 目標値
県内高等教育機関卒業生の県内就職率	%	35	35	45
県内高等教育機関から県内企業へのインターンシップ参加者数	人	343	407	473

○島根総合発展計画

成果参考指標	単位	H27年度 実績値	H28年度 目標値	H31年度 目標値
一般入試の志願倍率の順位(県立大学:浜田・松江)	%以内	27.0	15.0	15.0
一般入試の志願倍率の順位(県立大学:出雲)	%以内	96.0	10.0	10.0
一般入試の志願倍率の順位(短期大学部:松江)	%以内	80.0	50.0	50.0
入学者に占める県内出身者比率(県立大学:浜田)	%	28.8	32.5	40.0
入学者に占める県内出身者比率(県立大学:松江)	%	—	—	55.0
入学者に占める県内出身者比率(県立大学:出雲)	%	63.8	60.0	60.0
入学者に占める県内出身者比率(短期大学部:松江)	%	69.8	70.0	70.0
県内高等教育機関卒業生の県内就職率	%	35.0	38.2	45.1
県内高等教育機関から県内企業へのインターンシップ参加者数	人	407	383	473
県立大学・短期大学部の公開講座年間受講者数	人	5,400	5,700	6,000

3. 高大接続改革・大学教育改革が進む中、大学教育の質の保証(入試・教育課程・卒業認定を一貫させ、卒業時に身に付けるべき資質能力の明確化とその保証)が求められている

高大接続改革：「三つのポリシー」に基づく大学教育改革の実現に向けて

参考資料3
中央教育審議会大学分科会大学院部会
専門職大学院ワーキンググループ
(第5回) H28.4.3

「学校教育法施行規則の改正」

全ての大学等において、以下の**三つの方針を一貫性あるものとして策定し、公表**するものとする。

- ①卒業認定・学位授与の方針、②教育課程編成・実施の方針、③入学者受入れの方針

(平成29年4月1日施行)

大学教育の充実に向けた PDCAサイクルの確立

- ・生涯学び続け、主体的に考える力を持ち、未来を切り拓いていく人材を育成する大学教育の実現
- ・大学教育の「入口」から「出口」までを一貫したものとして構築し、高等学校や産業界をはじめ広く社会に発信

大学教育の
質的転換

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

学生が身に付けるべき資質・能力の明確化
<PDCAサイクルの起点>

各大学の教育理念を踏まえ、
一貫性あるものとして策定

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

体系的で組織的な教育活動の展開のための教育課程編成、
教育内容・方法、学修成果の評価方法の明確化

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

入学者に求める学力の明確化、
具体的な入学者選抜方法の明示

「三つのポリシーの策定及び運用に関するガイドライン」

各大学の建学の精神や強み・特色等を踏まえた**自主的・自律的な三つのポリシーの策定と運用の参考指針**

(主な内容)

- ・三つのポリシーの策定単位は、学位プログラム(授与される学位の専攻分野ごとの入学から卒業までの課程)を基本に、各大学が適切に判断。
- ・各大学において、
①卒業までに学生が身に付けるべき資質・能力を示すディプロマ・ポリシーと、それを達成するための教育課程の編成・実施の在り方を示すカリキュラム・ポリシー、②これら二つのポリシーを踏まえて学生を受け入れるためのアドミッション・ポリシーを、それぞれ策定。
- ・三つのポリシーに基づく大学教育の諸活動を実施するとともに、その結果の自己点検・評価とそれを踏まえた改善に取り組み、大学教育の内部質保証システムを確立。
- ・三つのポリシーとそれに基づく教育の実績等を分かりやすく積極的に情報公開することで、高校の進路指導を改善するとともに、産業界からの理解を得て連携を強化。

4. 県・地域から何を求められているかをベースに、 県立大学のミッションを明確化することが必要

多くの地方国立大学は、ミッションを再定義により「地域のニーズに応える人材育成・研究の推進」を強化する大学改革に着手

●28年度「国立大運営費交付金」における“3つの重点支援枠”

(表1)

【重点支援①】	【重点支援②】	【重点支援③】
<p>主として、地域に貢献する取組とともに、専門分野の特性に配慮しつつ、強み・特色のある分野で世界・全国的な教育研究を推進する取組を中核とする国立大を支援。</p>	<p>主として、専門分野の特性に配慮しつつ、強み・特色のある分野で地域というより世界・全国的な教育研究を推進する取組を中核とする国立大を支援。</p>	<p>主として、卓越した成果を創出している海外大学と伍して、全学的に卓越した教育研究、社会実装を推進する取組を中核とする国立大を支援。</p>
<p>北海道教育大 室蘭工業大 小樽商科大 帯広畜産大 旭川医科大 北見工業大 弘前大 岩手大 宮城教育大 秋田大 山形大 福島大 茨城大 宇都宮大 群馬大 埼玉大 横浜国立大 新潟大 長岡技術科学大 上越教育大 富山大 福井大 山梨大 信州大 岐阜大 静岡大 浜松医科大 愛知教育大</p>	<p>名古屋工業大 豊橋技術科学大 三重大 滋賀大 滋賀医科大 京都教育大 京都工芸繊維大 大阪教育大 兵庫教育大 奈良教育大 和歌山大 鳥取大 島根大 山口大 徳島大 鳴門教育大 香川大 愛媛大 高知大 福岡教育大 佐賀大 長崎大 熊本大 大分大 宮崎大 鹿児島大 琉球大</p>	<p>筑波技術大 東京医科歯科大 東京外国語大 東京学芸大 東京芸術大 東京海洋大 お茶の水女子大 電気通信大 奈良女子大 九州工業大 鹿屋体育大 政策研究大学院大 総合研究大学院大 北陸先端科学技術大学院大 奈良先端科学技術大学院大</p>
55大学	15大学	16大学
		文科省「28年度概算要求：高等教育局主要事項」資料(27年8月)より

Ⅲ 県立大学の目標

県立大学の目標

「公立大学法人島根県立大学中期目標(抄)」(第2期 H25～30)

1. 高い知性と人間性を育み、地域に役立つ人材を輩出する大学
2. 地域に根ざし、地域に貢献する大学
3. 北東アジアをはじめとする国際的な研究教育を推進する大学

「島根県立大学憲章(抄)」

1. 市民的教養を高め、主体的に学び、実践する人材を養成する。
2. 現代社会の諸課題に対応した“諸科学の統合”を実践する
3. 地域の課題を多角的に研究し、市民や学生の地域活動を積極的に支援して、地域に貢献する。
4. 北東アジア地域をはじめとする国際的な研究教育の拠点を構築する
5. 自律と協同、透明性が高く機能性に優れた大学運営を行う

■ 島根県立大学第2期中期目標(平成25年度～平成30年度)

前文 基本的な目標	1. 高い知性と豊かな人間性を育み、社会に役立つ人材を輩出する大学 2. 地域に根ざし、地域に貢献する大学 3. 北東アジアをはじめとする国際的な研究教育を推進する大学
I-1目標の期間	H25. 4. 1 ～ H31. 3. 31
I-2基本組織	法人は、島根県立大学及び島根県立大学短期大学部を設置
II. 社会情勢の変化に的確に対応した大学づくり	

III. 大学の教育研究などの質の向上	
1. 教育	(1)人材育成の方向性 (2)教育内容の充実 ア 入学者の受入れ イ 教育課程の充実 ウ 成績評価など (3)教育の質を高めるための取組み ア 教育の質及び教育環境の向上 イ 教育実施体制等の整備 (4)学生支援の充実
2. 研究	(1)目指すべき研究及び研究の成果の活用 ア 目指す研究 イ 研究成果の評価及び活用 (2)研究実施体制などの整備 (3)研究費の配分及び外部競争的資金の導入
3. 地域貢献、国際交流	(1)地域貢献の推進 ア 地域連携に関するコーディネート業務の実施 イ 民間団体などや行政との連携 ウ 県内教育研究機関などとの連携 エ 県民への学習機会などの提供 (2)国際交流の推進 ア 海外の大学などとの交流 イ 留学生の派遣と受入れ ウ 国際交流推進体制の整備

IV. 自主的、自律的な組織・運営体制の確立	
1. 業務運営の改善及び効率化	(1)運営、組織体制の改善による効率的、合理的な経営 (2)人事管理の適正化
2. 財務内容の改善による経営基盤の強化	(1)自己財源の充実 (2)経費の抑制 (3)監査体制の充実
V. 評価制度の充実及び情報公開の推進	
1. 評価制度の充実	(1)組織を対象とした評価制度 (2)個人を対象とした評価制度
2. 情報公開の推進	
VI. その他業務運営に関する重要事項	
1. 広報広聴活動の積極的な展開など	
2. 施設設備の維持、整備などの適切な実施	
3. 安全管理対策の推進	
4. 危機管理体制の確保	
5. 人権の尊重	
6. 環境マネジメントシステムの構築・推進	

IV 県立大学の現状

1. 教育

- (1) 教育内容 ……P18
 (松江C4年制化 ……P22)
- (2) 学生確保 ……P27
- (3) 就職支援 ……P32

2. 研究

- (1) 外部資金 ……P34
- (2) 研究組織 ……P36
- (3) 研究内容 ……P37

3. 地域貢献

- (1) 自治体等連携協定 ……P40
- (2) 出前・公開講座 ……P41
- (3) 学生ボランティア数 ……P42
- (4) 地域貢献のための研究 ……P43
- (5) 社会人学び直し ……P44

4. 国際交流

- (1) 交流協定校 ……P45
- (2) 留学生受入 ……P46
- (3) 留学・海外研修 ……P47

5. 外部評価

- (1) 県評価委員会 ……P48
- (2) 認証評価機関 ……P49

1. 教育 (1)教育内容

• 県立大学(浜田キャンパス)総合政策学部

国際関係プログラム

- 1 国際関係
- 2 国際環境政策
- 3 英語力

北東アジアプログラム

- 1 北東アジア地域の現状研究
- 2 北東アジア地域の国際関係
- 3 北東アジア言語の習得

社会経済プログラム

- 1 社会経済に関する専門を学ぶ
- 2 経営能力を育成
- 3 情報分析・活用の能力育成

地域政策プログラム

- 1 地域課題の発見と解決能力を養う
- 2 社会を政策・法律の観点で考察
- 3 統計学による分析を養う

[H29.4現在]

(単位:人)

総合政策学部

学生数	日本人	留学生数	中国
			10
943	933	10	10

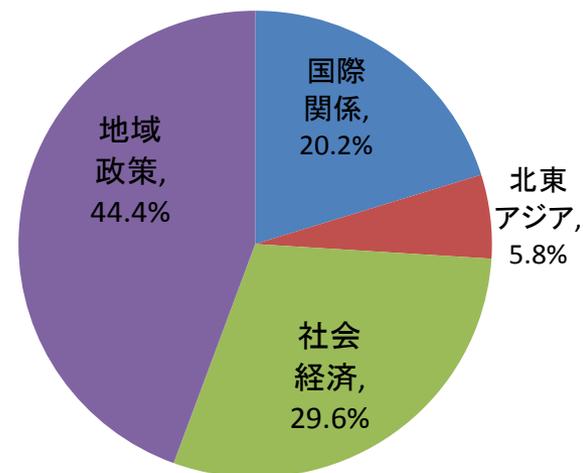
県大データ 10ページより

1. 教育 (1)教育内容

浜田キャンパス プログラム別履修者の推移

5年平均(H24~H28)

入学年度	プログラム名称								総計
	国際関係		北東アジア		社会経済		地域政策		
H24入学	48	20.0%	15	6.3%	71	29.6%	106	44.2%	240
H25入学	45	18.4%	13	5.3%	87	35.5%	100	40.8%	245
H26入学	64	26.7%	17	7.1%	49	20.4%	110	45.8%	240
H27入学	48	21.0%	18	7.9%	74	32.3%	89	38.9%	229
H28入学	33	14.5%	6	2.6%	69	30.4%	119	52.4%	227
平均	47.6	20.2%	13.8	5.8%	70.0	29.6%	104.8	44.4%	236.2



1. 教育 (1)教育内容

・県立大学(浜田キャンパス)大学院 北東アジア開発研究科

北東アジア専攻 (博士前期課程)

北東アジア地域の社会構造の分析と課題発見ができる能力を養い、北東アジア研究のスペシャリストを育成

地域開発政策専攻 (博士前期課程)

日本国内における地域社会及び国レベルの開発政策の課題への理解を深め、地域の社会的課題の発見・解決策のマネジメント能力を有する人材を育成

北東アジア超域専攻(博士後期課程)

北東アジア地域に存在する超域的問題(群)を、専門知識と研究の成果を踏まえ、ダイナミックでグローバルな北東アジア学の創成と、北東アジア地域の知的拠点形成に貢献しうる新たな人材を育成

[H29.4現在]

大学院

(単位:人)

学生数	日本人	留学生数	留学生数	
			中国	ロシア
43	8	35	33	2

県大データ 10ページより

1. 教育 (1)教育内容

• 県立大学(出雲キャンパス)

看護学部

育成する人材

自ら考え行動できる、視野の
広い専門職業人

大学院 看護学研究科

修士課程

(研究領域)

- ・がん看護学
- ・精神看護学
- ・高齢者リハビリテーション看護学
- ・地域保健学

別科 助産学専攻

高度な助産実践能力と倫理観
を備え地域に貢献できる助産師

[H29.4現在]

出雲キャンパス(学生数)

(単位:人)

看護学部	別科 助産学専攻	大学院	合計
338	18	11	367

県大データ 10ページより

1. 教育 (1)教育内容

・ 県立大学短期大学部(松江キャンパス)

健康栄養学科

「健康づくり」を視野に入れた「食」の専門家、地域に貢献できる実力ある栄養士の養成

総合文化学科

学びの柱としての3つの系

- ①文化資源学系
- ②英語文化系
- ③日本語文化系

保育学科

保育に対する高度な専門性と豊かな人間性を育む

[H29.4現在]

松江キャンパス(学生数)

(単位:人)

健康栄養学科	保育学科	総合文化学科	合計
66	106	312	484

県大データ 10ページより

1. 教育 (1)教育内容

・全学での特色ある取組み

OCOC事業 地(知)の拠点整備事業

- ・しまね地域マイスター認定制度(浜田・出雲)
 - ・・・島根地域のあらゆる分野へ精通した学生を大学が認定
- ・フレッシュマンフィールドセミナー (浜田)
 - ・・・地域調査のなかで課題を発見し、課題解決策を提案

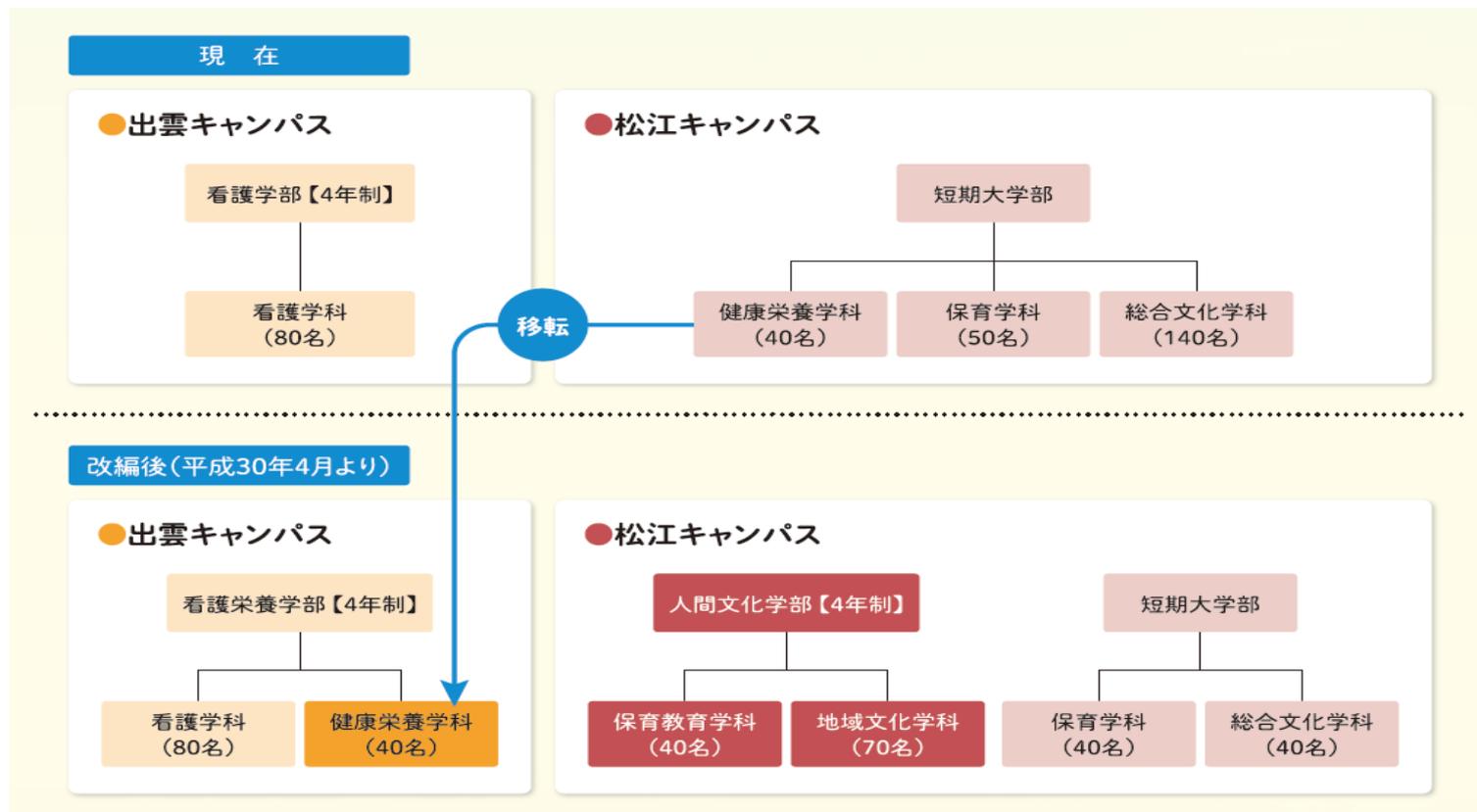
OCOC+事業 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業

- ・県内就職への取組(島根大学・島根県立大学・松江高専)
 - ・・・インターンシップ、企業との交流会の開催

1. 教育（1）教育内容（H30.4 松江キャンパス 4年制化）

地域のニーズに応え、学部・学科の改編を実施

- 松江キャンパスの短期大学部3学科全てを4年制化
- 健康栄養学科を出雲キャンパスに移転
- 短期大学部は、定員を見直した上で2学科を継続



()内数値は1学年の定員数、4年制化後の学部・学科名称は仮称

●松江キャンパス（4年制）

人間文化学部 保育教育学科

●入学定員 40名

- 乳幼児から小学校までの発達段階を見通した教育ができる高い専門性と指導力を備えた人材を育成します。
- 保護者や障がいのある子どもの支援など、複雑化・多様化する現場の課題に的確に対応できる実践力や応用力を備えた人材を育成します。



内容・特色

- 保幼小の連携を担える高度な専門性を身に付けるため幅広い分野の科目を設けます。
- インクルーシブ教育※に必要な知識や技術を修得できる保育・教育に関する科目を設けます。

取得可能な資格

保育士/幼稚園教諭一種/小学校教諭一種/特別支援学校教諭一種/司書教諭
(注) 履修する専門分野によって取得できる資格は異なる。

想定される進路

保育所、幼稚園、認定こども園、児童福祉施設、小学校 など

※インクルーシブ教育…障がいのある子どもを含むすべての子どもに対して、子ども一人一人の教育的ニーズにあった適切な教育的支援を、「通常の学級において」行う教育のこと。

●松江キャンパス（短期大学）

短期大学部 保育学科

●入学定員 40名〔現行50名〕

- 保育、教育、福祉についての知識や理論、技術を学び、保育現場で適切に対応できる知識と技術を備えた保育士を育成します。

取得可能な資格

保育士/幼稚園教諭二種

想定される進路

保育所、幼稚園、認定こども園、児童福祉施設 など

人間文化学部 地域文化学科

●入学定員 70名

- 幅広い文化的教養と柔軟な思考力・判断力をもって、広く社会で役立つ実践力を兼ね備えた人材を育成します。
- 地域と真摯に向き合うことにより、社会の中で周りと協調しながら主体的に課題解決に取り組んでいける人材を育成します。



内容・特色

- 「しまねの文化」や「しまねフィールド科目」など独自の科目を設け、島根の文化を広く体験的に学びます。
- 観光まちづくりに関する科目を設け、文化を社会の中で活用していくための実践的な教育を強化します。

取得可能な資格

中学校教諭一種(国語)/中学校教諭一種(英語)/高等学校教諭一種(国語)/
高等学校教諭一種(英語)/司書/司書教諭
(注) 履修する専門分野によって取得できる資格は異なる。

想定される進路

企業、県・市町村、図書館、中学校、高等学校 など

短期大学部 総合文化学科

●入学定員 40名〔現行140名〕

- 社会人として求められる日本語力やコミュニケーション力を養い、社会で即戦力となる人材を育成します。

資格取得の支援

日本語・中国語検定/CS検定/TOEIC検定/秘書検定/ビジネス実務マナー検定/
サービス接客検定/語彙・読解力 ビジネス文書検定
(注) 卒業時に取得したり、受験資格を得るものではありません。

想定される進路

企業・県・市町村 など

● 出雲キャンパス (4年制)

看護栄養学部 健康栄養学科

● 入学定員 40名

- 「食」を通じて、ライフステージに応じた健康増進から生活習慣病などの疾病の予防と改善、高齢者の在宅栄養ケアまで、幅広く地域住民のQOL (quality of life) の向上に寄与する管理栄養士を育成します。



内容・特色

- 山陰初の管理栄養士養成施設です。
- 看護師、保健師など関連職種との連携を重視したカリキュラムを通じて、現場での連携能力を育成します。
- 高齢化社会において必要とされる在宅栄養ケアの専門的な実践能力を身につけます。

取得可能な資格

栄養士/管理栄養士※1[国家試験受験資格]/栄養教諭一種※2[選択]
食品衛生管理者/食品衛生監視員

想定される進路

病院、社会福祉施設、保健所、市町村、企業、学校 など

※1 管理栄養士… 健康な人から療養者まで、個人の身体の状況や栄養状態等を考慮した栄養の指導、給食管理を行う。栄養士業務に比べ、より専門的知識や技術が求められ、国家試験での合格が必要。国家試験受験資格を得るためには、短期大学(2年制)では、卒業後栄養指導の実務経験が必要であるのに対し、4年制大学では、実務経験が不要となる。

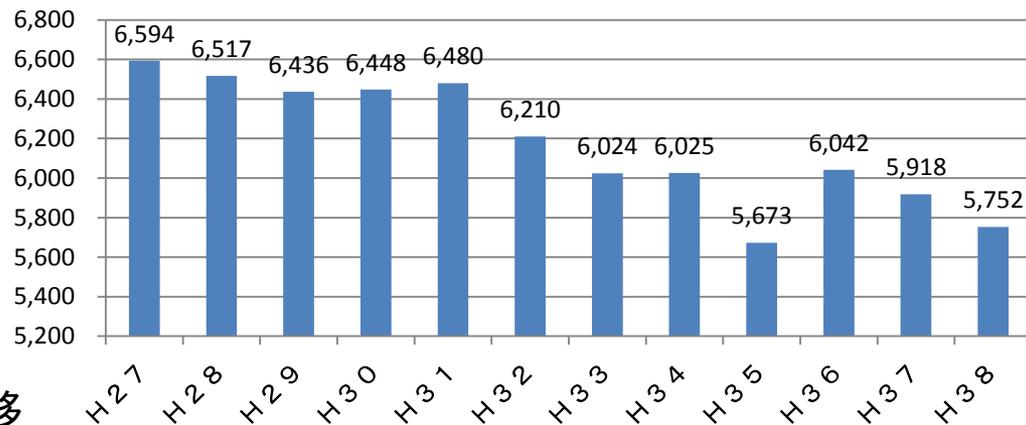
※2 栄養教諭… 児童生徒に対する食に関する指導や、学校給食の管理などを行う教諭のこと。



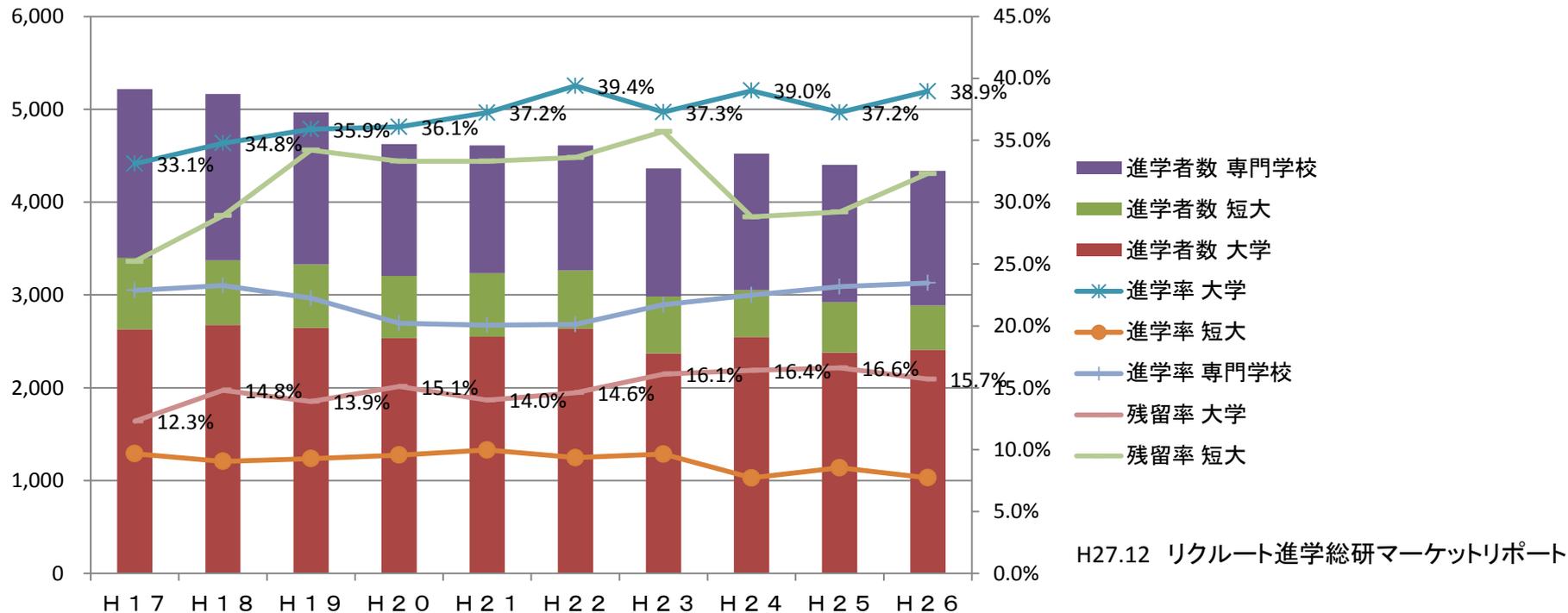
出雲キャンパスイメージ
(健康栄養学科棟新築)

1. 教育内容 (2) 学生確保

県内18歳人口(予測)



県内高校生の進学者数・進学率・残留率推移



H27.12 リクルート進学総研マーケットリポート

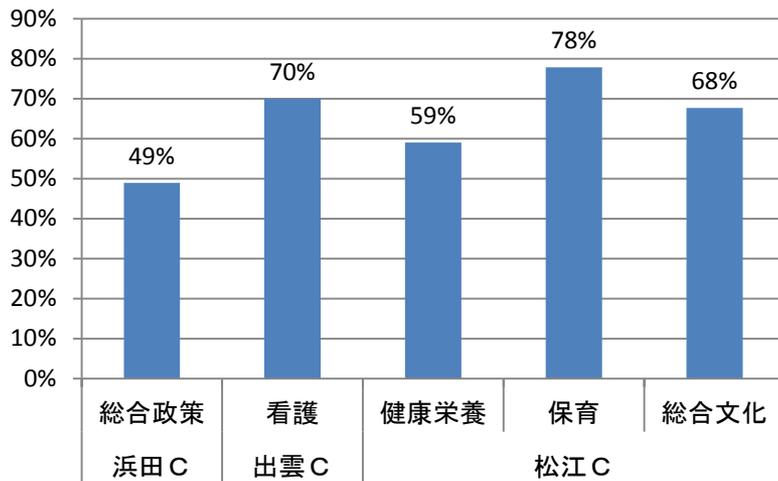
1. 教育内容 (2) 学生確保

・ 入学者の志願動機 (H28.4 入学者)

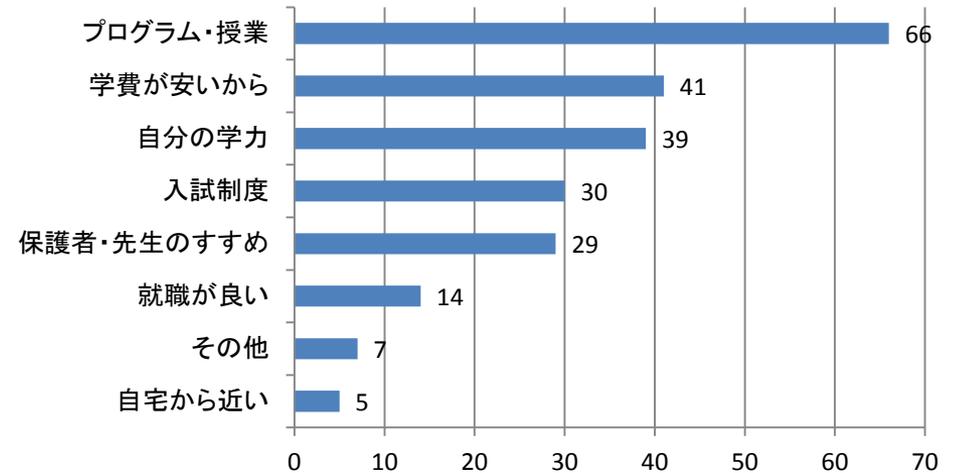
第1志願者率

浜田C入学者

第1志願者の割合 (推薦含む)



※推薦入学を含む

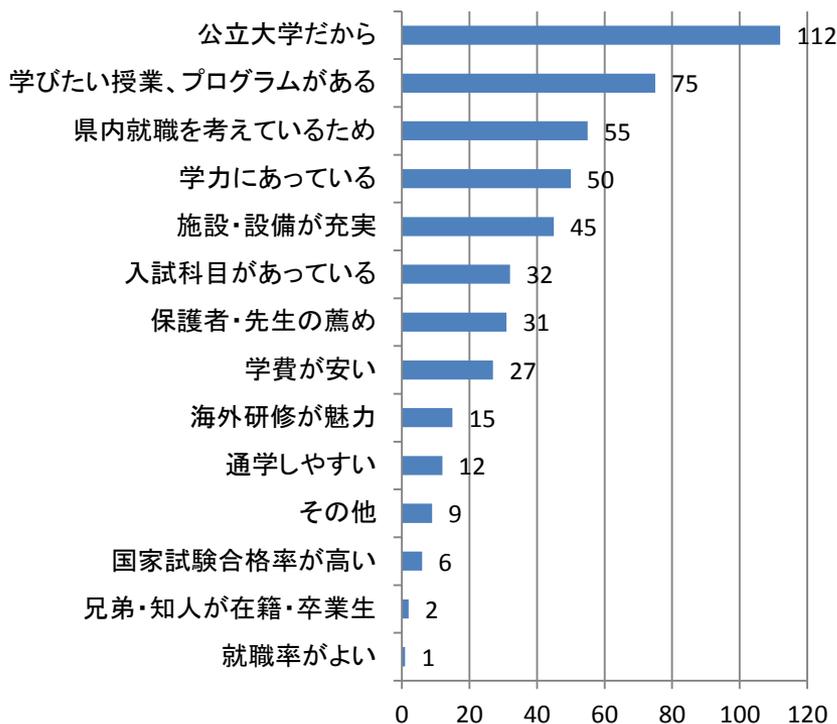


※浜田C: 最も重視した理由を一つ選択

出典: 県立大学新入生アンケート

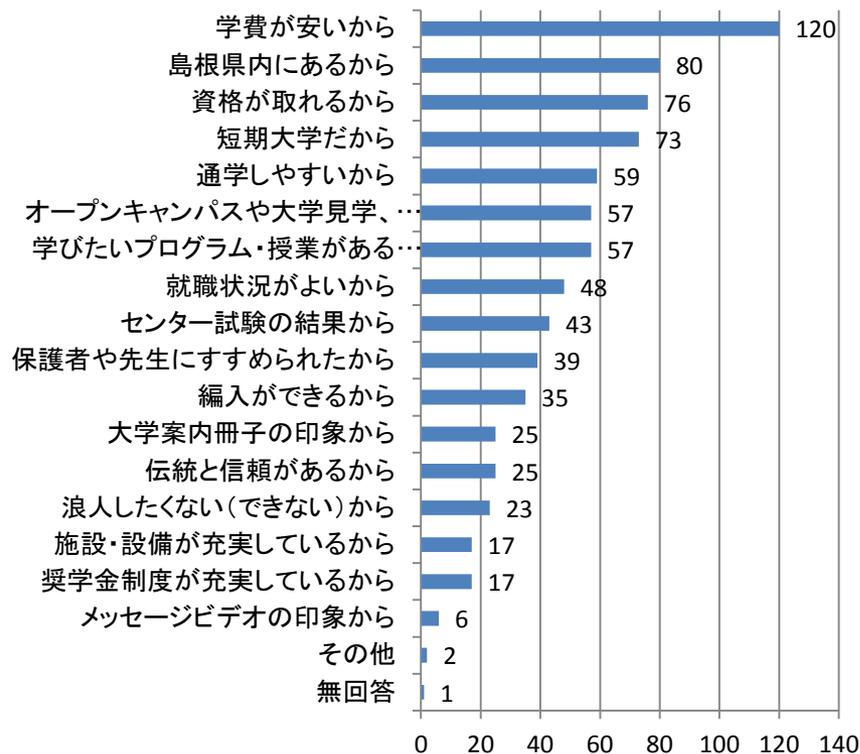
1. 教育内容 (2) 学生確保

出雲C入学者



※出雲C: 最重視3点、2番目重視2点、3番目重視1点で集計
(全回答者80名)

松江C入学者



※松江C: 複数回答を可とする調査。人数を集計。(全回答者220名)

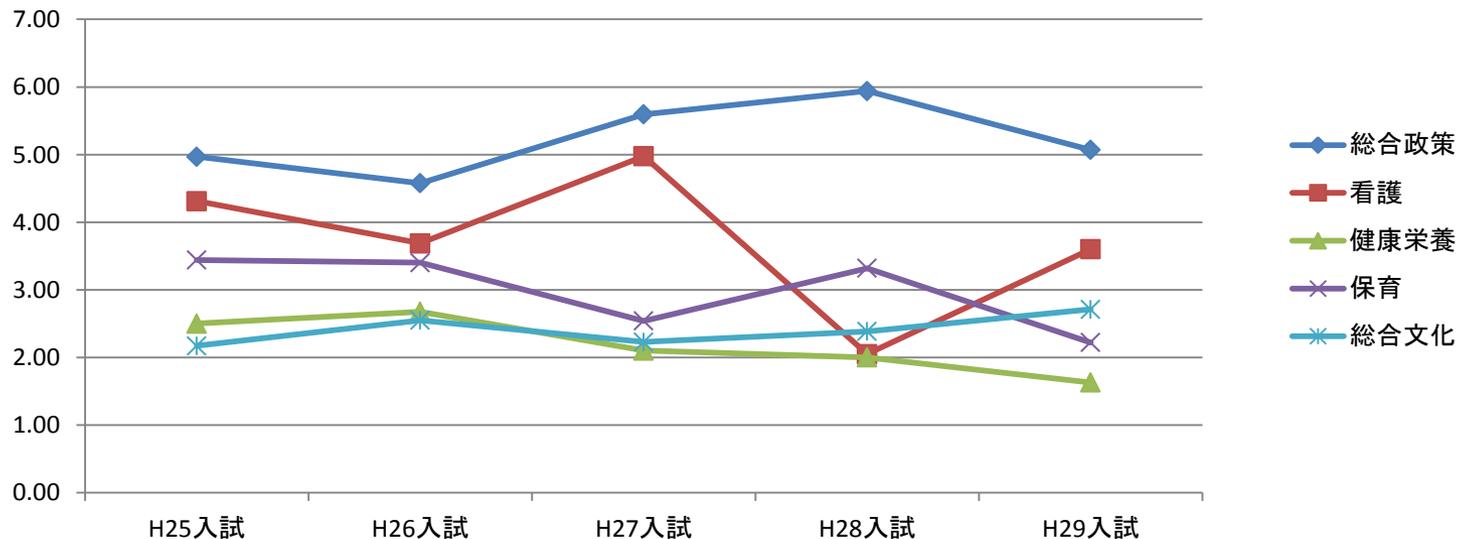
出典: 県立大学新入生アンケート

1. 教育内容 (2) 学生確保

・ 志願倍率

○ 志願者数・倍率

キャンパス	学部・学科		H25		H26		H27		H28		H29	
			人数	倍率								
浜田	総合政策	志願者	1,093	4.97	1,007	4.58	1,231	5.60	1,307	5.94	1,115	5.07
		定員	220		220		220		220		220	
出雲	看護	志願者	345	4.31	295	3.69	398	4.98	164	2.05	288	3.60
		定員	80		80		80		80		80	
松江	健康栄養	志願者	100	2.50	107	2.68	84	2.10	80	2.00	65	1.63
		定員	40		40		40		40		40	
	保育	志願者	172	3.44	170	3.40	127	2.54	166	3.32	111	2.22
		定員	50		50		50		50		50	
	総合文化	志願者	304	2.17	357	2.55	312	2.23	334	2.39	379	2.71
		定員	140		140		140		140		140	



1. 教育内容 (2) 学生確保

県大データ 18～20ページより

・ 県内者の入学

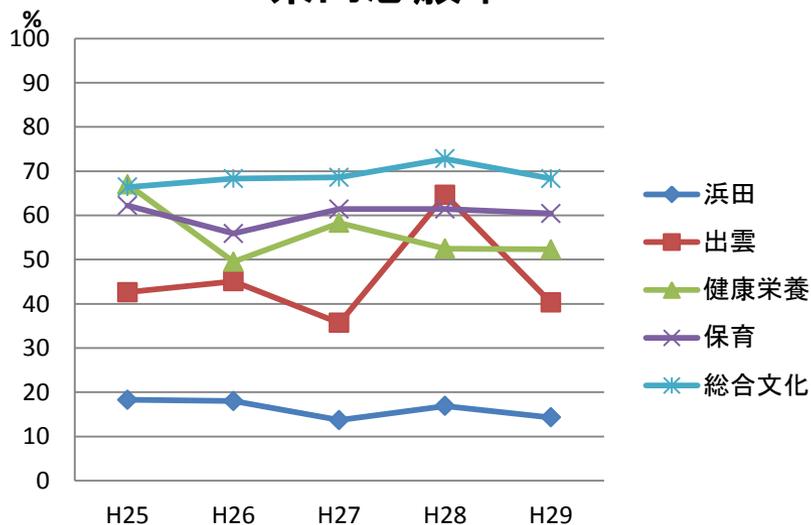
○県内志願者数・割合

キャンパス	学部・学科	H25入試		H26入試		H27入試		H28入試		H29入試		
		人数	割合									
浜田	総合政策	県内	200	18.3%	181	18.0%	169	13.7%	221	16.9%	160	14.3%
		全体	1,093		1,007		1,231		1,307		1,115	
出雲	看護	県内	147	42.6%	133	45.1%	142	35.7%	106	64.6%	116	40.3%
		全体	345		295		398		164		288	
松江	健康栄養	県内	67	67.0%	53	49.5%	49	58.3%	42	52.5%	34	52.3%
		全体	100		107		84		80		65	
	保育	県内	107	62.2%	95	55.9%	78	61.4%	102	61.4%	67	60.4%
		全体	172		170		127		166		111	
	総合文化	県内	202	66.4%	244	68.3%	214	68.6%	243	72.8%	259	68.3%
		全体	304		357		312		334		379	

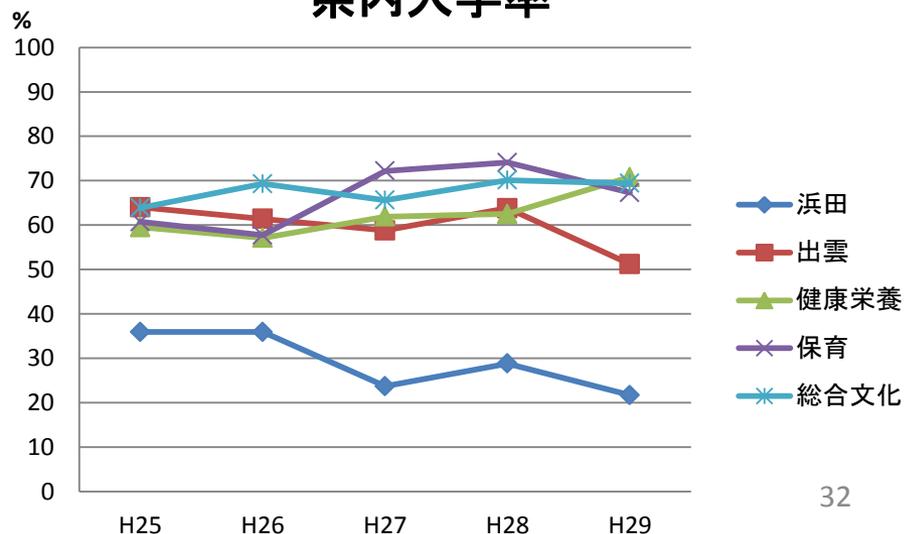
○県内入学者数・割合

キャンパス	学部・学科	H25入試		H26入試		H27入試		H28入試		H29入試		
		人数	割合									
浜田	総合政策	県内	85	35.9%	85	35.9%	55	23.7%	67	28.8%	51	21.7%
		全体	237		237		232		233		235	
出雲	看護	県内	55	64.0%	51	61.4%	50	58.8%	51	63.8%	44	51.2%
		全体	86		83		85		80		86	
松江	健康栄養	県内	25	59.5%	24	57.1%	26	61.9%	25	62.5%	17	70.8%
		全体	42		42		42		40		24	
	保育	県内	34	60.7%	30	57.7%	39	72.2%	40	74.1%	35	67.3%
		全体	56		52		54		54		52	
	総合文化	県内	101	63.9%	106	69.3%	101	65.6%	108	70.1%	109	69.4%
		全体	158		153		154		154		157	

県内志願率



県内入学率



1. 教育内容 (3) 就職支援

県大データ 24ページより

○就職者数・率

キャンパス	学部・学科		H23		H24		H25		H26		H27		H28	
			人数	就職率										
浜田	総合政策	決定	209	93.3%	209	96.8%	202	95.3%	215	95.6%	218	99.1%	200	98.0%
		希望	224		216		212		225		220		204	
出雲	看護	決定	66	100.0%	48	100.0%	51	100.0%	—	—	74	100.0%	67	100.0%
		希望	66		48		51		—		74		67	
松江	健康栄養	決定	37	97.4%	36	97.3%	36	97.3%	27	93.1%	30	100.0%	28	100.0%
		希望	38		37		37		29		30		28	
	保育	決定	49	100.0%	51	100.0%	50	100.0%	54	100.0%	49	100.0%	50	100.0%
		希望	49		51		50		54		49		50	
	総合文化	決定	103	91.2%	97	88.2%	94	92.2%	105	97.2%	115	97.5%	111	91.7%
		希望	113		110		102		108		118		121	

○県内就職者数・率

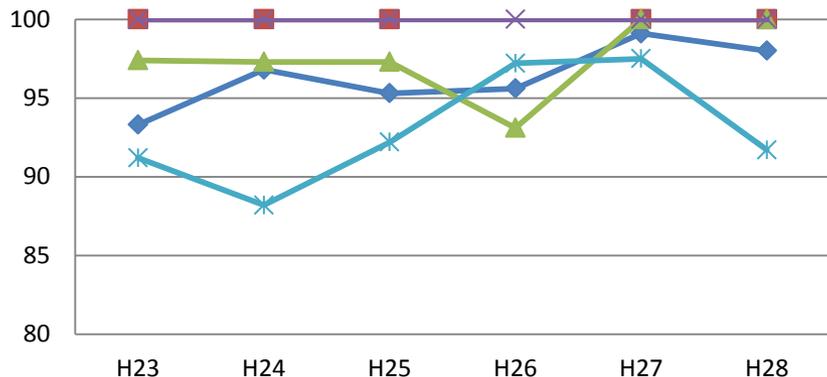
キャンパス	学部・学科		H23		H24		H25		H26		H27		H28	
			人数	就職率										
浜田	総合政策	県内	72	34.4%	54	25.8%	56	27.7%	51	23.7%	55	25.2%	45	22.5%
		全体	209		209		202		215		218		200	
出雲	看護	県内	44	66.7%	39	81.3%	36	70.6%	—	—	44	59.5%	32	47.8%
		全体	66		48		51		—		74		67	
松江	健康栄養	県内	29	78.4%	25	69.4%	27	75.0%	15	55.6%	19	63.3%	20	71.4%
		全体	37		36		36		27		30		28	
	保育	県内	34	69.4%	38	74.5%	39	78.0%	34	63.0%	32	65.3%	38	76.0%
		全体	49		51		50		54		49		50	
	総合文化	県内	71	68.9%	75	77.3%	69	73.4%	75	71.4%	82	71.3%	75	67.6%
		全体	103		97		94		105		115		111	

○県内出身者の県内就職者数・率

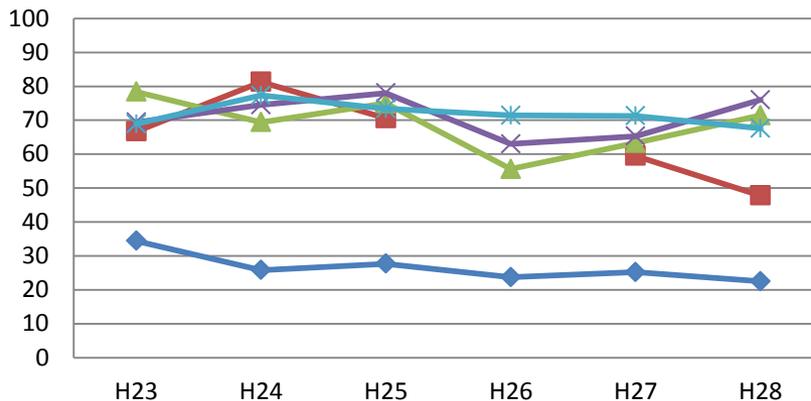
キャンパス	学部・学科		H23		H24		H25		H26		H27		H28	
			人数	就職率	人数	就職率	人数	就職率	人数	就職率	人数	就職率	人数	就職率
浜田	総合政策	県内	65	69.9%	47	51.1%	51	54.3%	44	48.9%	48	57.8%	43	58.1%
		全体	93		92		94		90		83		74	
出雲	看護	県内	35	81.4%	36	87.8%	33	82.5%	—	—	40	75.5%	31	72.1%
		全体	43		41		40		—		53		43	
松江	健康栄養	県内	23	92.0%	22	91.7%	21	95.5%	13	81.3%	15	88.2%	19	90.5%
		全体	25		24		22		16		17		21	
	保育	県内	33	100.0%	34	97.1%	38	100.0%	32	100.0%	29	100.0%	36	100.0%
		全体	33		35		38		32		29		36	
	総合文化	県内	62	92.5%	62	89.9%	61	93.8%	59	89.4%	75	92.6%	66	84.6%
		全体	67		69		65		66		81		78	

1. 教育内容 (3) 就職支援

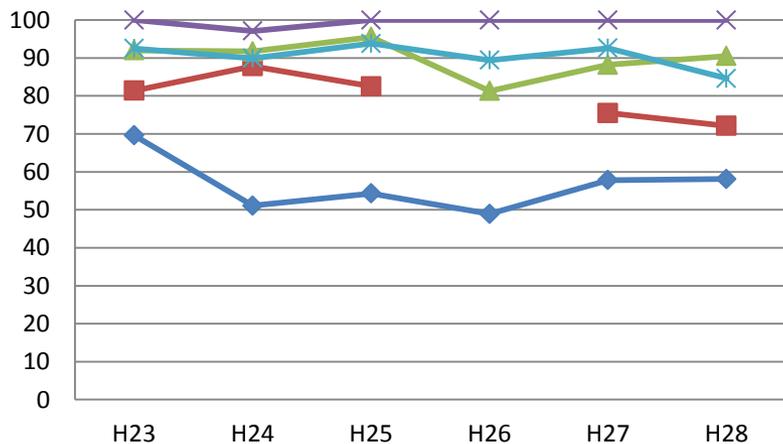
就職率



県内就職率



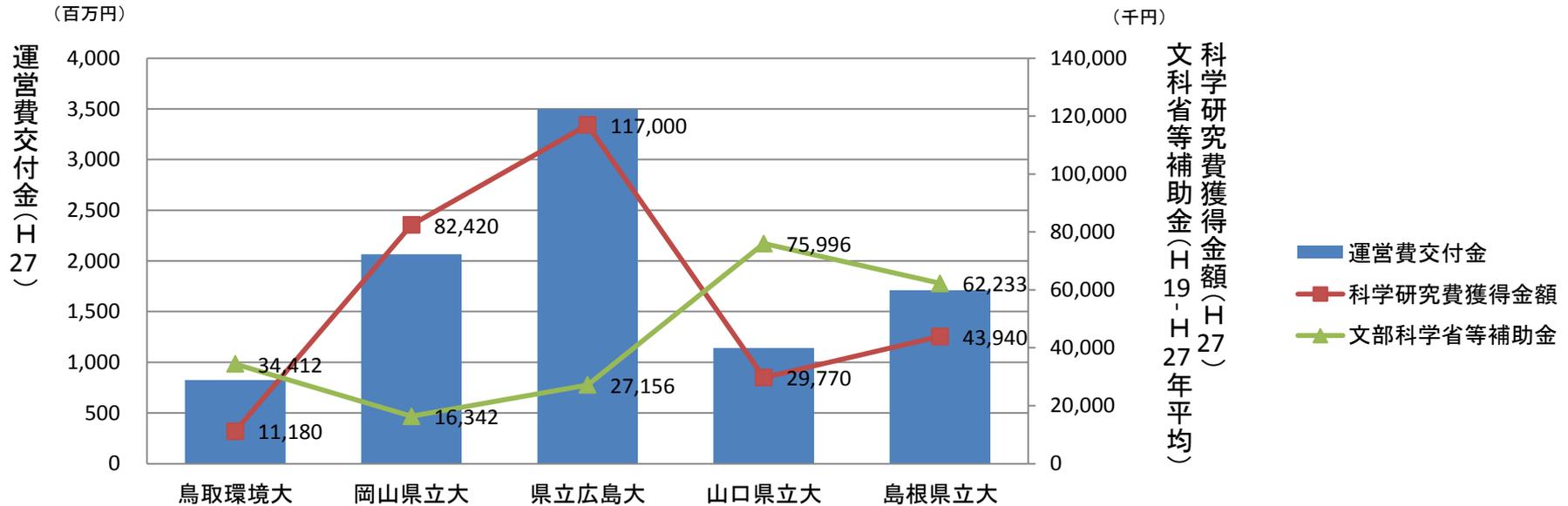
県内出身者の県内就職率



- ◆ 浜田
- 出雲
- ▲ 健康栄養
- × 保育
- ✧ 総合文化

2. 研究 (1)外部資金

科学研究費・文科省補助金獲得実績と運営費交付金規模



科研費 (件数)	(単位: 千円)					
	H24	H25	H26	H27	H28	
浜田	20	21	20	14	12	
出雲	6	7	10	12	15	
松江	4	1	2	3	4	
合計	30	29	32	29	31	

科研費 (金額)	(単位: 千円)					
	H24	H25	H26	H27	H28	
浜田	36,140	36,100	37,830	29,770	10,790	
出雲	11,440	5,850	8,060	7,670	14,170	
松江	4,810	1,040	650	3,640	3,120	
合計	52,390	42,990	46,540	41,080	28,080	

※延長分を除いている、上記グラフ数値とは一致しない。

科学研究費・・・国から独立行政法人日本学術振興会を通じて交付される、競争的研究資金

文科省等補助金・・・文科省等より、教育改革の促進(GP)や地(知)の拠点整備(COC)などのために特別に選定され交付される補助金

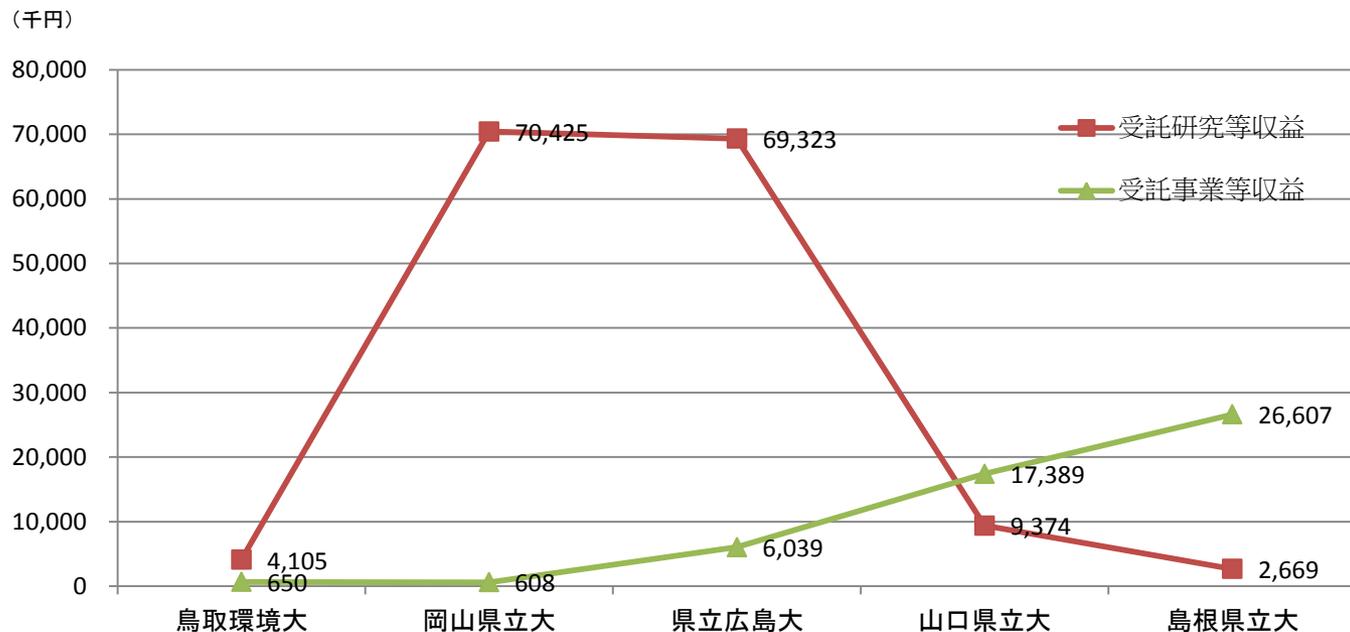
運営費交付金規模...各法人公表の平成27年度財務諸表より作成

科研費獲得実績...文科科学省公表資料「平成27年度科学研究費助成事業の配分について」より作成

文科科学省等補助金...各法人の財務諸表より、抽出整理(補助金は複数年にまたがるため、H19以降の法人会計の年平均をとる)

※島根県立大は短期大学部を含む

受託研究等の状況(平成27年度)



※島根県立大は短期大学部を含む

- ・受託研究・・・自治体等から受託を受けた研究
- ・受託事業・・・自治体等から受託を受けた、現状分析・調査、人材育成事業など

平成27年度各大学財務諸表より作成

2. 研究 (2) 研究組織

・ 北東アジア地域研究センター(略称:NEARセンター)

- ・ 中国・台湾・韓国・北朝鮮・モンゴル・ロシア・日本を含む「北東アジア地域」の学術研究を行う附属研究機関
- ・ 島根県の地理的、歴史的な特色を活かしながら、歴史・文化・政治・国際関係などの人文・社会科学的研究手法によって、北東アジア地域が抱える諸問題を多角的に研究。
- ・ 海外の大学を始めとする研究機関や地域とも連携しつつ、幅広くかつ最新の研究活動を行い、北東アジア研究において日本を代表する研究機関。

【組織】

- 研究員
 - 教員 10名 (学部と兼務)
 - 派遣研究員 1名
 - 名誉研究員 1名
- 客員研究員 31名
- 准研究員 3名 (大学院生)

北東アジア地域学術交流財団

- H11.8 設立(基本財産1億、運用財産5億)
- H12.4 開学、NEARセンター設置
- H19.3 財団解散
- H19.4 法人設立
- H20.1 法人へ財産承継(3億5千万円)
- H27.3 残高2億5千万

2. 研究 (2) 研究内容

1. 近年の研究活動

(1) 主要学術交流先とのシンポジウム等の実績

【中国】

- 北京大学国際関係学院(2000年協定締結)
 - ・「中国式発展の独自性と普遍性－《中国模式》の提起を巡って－」(2014.2浜田)
 - ・「大国中国：国家主権と国際社会における責任」(2014.9北京)
 - ・「国際秩序をめぐるグローバル・アクター中国の『学習』と『実践』－外交・内政の共振性と歴史の視点から－」(2016.3浜田)
- 復旦大学国際問題研究院(2005年協定締結)
 - ・「北東アジア協力の新課題」(2013.7浜田)
 - ・「国際学術検討会」(2015.9上海)
- 東北師範大学東亜文明研究中心(2013年協定締結)
 - ・「東アジア研究のケースと方法」(2013長春)
 - ・「激動する北東アジアの共生を求めて」(2014.11浜田)

【韓国】

- 蔚山大学校(2001年協定締結)
 - ・「日韓関係を展望する－北東アジアにおける蔚山と島根の絆」(2014.10浜田)
- 啓明大学校(2011年協定締結)
 - ・「日中韓合同国際シンポジウムポスト金融危機における北東アジア地域の発展と協力」(2012.浜田)

【ロシア】

- 海洋国立大学(2010年協定締結)
 - ・「北東アジアにおける社会経済的課題の共有化～市民レベルでの協力関係の構築に向かって～」(2011.2浜田)
- タタールスタン科学アカデミー(2015年協定締結)
 - ・「タタール世界と日本－文化・経済・技術の接触と相互関係－」(2015.10松江)

(2) 地域社会との連携－市民研究員制度－

- 2006年創設。学外の発想を大学に取り入れ、大学院教育と研究に活かす。
- 2015年度36名の市民研究員が在籍。
- 市民研究員と大学院生及び教員が自発的に研究グループを形成。優れた研究計画を助成。

(3) 共同プロジェクト研究(旧NEAR財団助成金)

- 「北東アジアの中間接壌地域に見える北東アジア的超域性の比較研究：延辺朝鮮族自治州と韓国済州島」(2012-井上治研究員、佐藤壮研究員ほか)
- 「『北京コンセンサス』と日中関係の行方－北東アジアにおける国際秩序の変化をめぐる」(2012-江口伸吾研究員、李曉東研究員、佐藤壮研究員ほか)
- 「中国の台頭と北東アジア地域秩序の変動－中国国内統治との共振性に着目して－」(2014-佐藤壮研究員、李曉東研究員、江口伸吾研究員ほか)
- 「近代東アジアにおける社会民主主義の展開」(2014-井上厚史研究員、李曉東研究員、李曉東研究員、江口伸吾研究員ほか)
- 「北東アジア国際関係における“心の問題”」(2015-福原祐二研究員、石田徹研究員、佐藤壮研究員ほか)

2. 研究 (2) 研究内容

(4) 科学研究費助成を受けている研究(継続中のもの)

- (基盤A)井上厚史研究員:「東アジアにおける朝鮮儒教の位相に関する研究」
- (基盤B)井上治研究員:「17世紀モンゴルの翻訳史書『明鏡』の総合的研究」
- (基盤B)福原祐二研究員:「領土問題と漁業問題の交錯状況の克服:生活圏としての「領土」を巡る実証的研究」
- (基盤B)李曉東研究員:「中国格差社会における「つながり」の生成—基層社会の弱者に対する支援を手掛かりに」
- (基盤C)江口伸吾研究員:「現代中国の大衆路線と政治的・社会的ガバナンス—社会変動期の党の指導をめぐって」
- (若手B)豊田知世研究員:「都市輸出による温室効果ガス削減効果の定量評価に関する研究」
- (若手B)石田徹研究員:「前近代日朝関係における「訳官使」の基礎的研究」

(5) 出版物

【書籍】

- 飯田泰三、李曉東編『転換期における中国と日本:その苦悩と展望』(国際書院2012年)
- 宇野重昭『北東アジア創成シリーズ第1巻・北東アジア学への道』(国際書院2012年)
- 井上治ほか監訳、石田徹ほか訳『韓国・済州島と遊牧騎馬文化』(明石書店2015年)
- 飯田泰三編『北東アジアの地域交流—』(国際書院2015年)
- 福原裕二『北東アジア創成シリーズ第2巻・北東アジアと朝鮮半島研究』(国際書院2015年)

(『北東アジア創成シリーズ』刊行予定)

- 第3巻 ロシア 林裕明 2016.3
- 第4巻 モンゴル 井上治 随時刊行
- 第5巻 中国 I 李曉東 随時刊行
- 第6巻 中国 II 江口伸吾 随時刊行
- 第7巻 日本 飯田泰三 2018.3

【紀要】

- 『北東アジア研究』(2001年創刊～2015最新第26号)年1回発行

【ニューズレター】

- 『NEARNews』(2000年刊行～2015最新第48号)年2回発行

2. 研究 (2) 研究内容

2. 人間文化研究機構(NIHU) 共同研究プロジェクト「北東アジア地域研究」

【NIHUサイト: <http://www.nihu.jp/sougou/areastudies/index.html>】

- NEARセンターが北東アジア地域研究ネットワークの国内5大研究拠点に指定(その他の研究拠点: 国立民族学博物館、北海道大学、東北大学、富山大学)
- 共同研究の中心テーマ 「北東アジアにおける地域構造の変容: 越境から考察する共生への道」
- 本学の担当分野/研究テーマ 「思想・歴史的身份アイデンティティ」/「近代的空間の形成とその影響」
- プロジェクト期間 2016年-2021年の6年間

3. 竹島および歴史認識問題に関する主要研究業績

【論文】

- 福原裕二「北朝鮮の対日外交の特質—「対決的」日本認識の形成とその不変性」、アジア社会文化研究会『アジア社会文化研究』第3号、17-46頁、2002年
- 石田徹「明治初期日朝交渉における書契の問題」『早稲田政治経済学雑誌』356号、102-118頁、2000年
- 福原裕二「日韓会談文書目録(訳・作成・解説)」、島根県立大学北東アジア地域研究センター『北東アジア研究』第10号、141-154頁、2006年
- 石田徹「明治初期外務省の朝鮮政策と朝鮮観」、『早稲田政治経済学雑誌』364号、65-82頁、2006年
- 福原裕二「金日成権力の「歴史」構築と対日認識の形成」、『北東アジア研究』第12号、19-43頁、2007年
- 福原裕二「《資料》日韓関係(1952~74年)文書目録—第13次公開分—」、『北東アジア研究』第12号、95-99頁、2007年
- 福原裕二「「竹島」関連言説の検討」、島根県立大学総合政策学会『総合政策論叢』第17号、61-81頁、2009年
- 福原裕二「「竹島」に見る韓国・韓国人イメージ」、『アジア社会文化研究』第10号、72-102頁、2009年
- 井上厚史「近代日本における李退溪研究の系譜学—阿部吉雄・高橋進の学説の研討を中心に—」、『総合政策論叢』第18号、61-83頁、2010年
- 石田徹「対馬藩における帰属意識と日朝関係認識—訥庵・陶山庄右衛門を中心に—」、明治学院大学国際学部付属研究所『研究所年報』13号、10-16頁、2010年
- 井上治「北東アジアの白樺樹皮文化—環境・社会・伝統・歴史からの北東アジア学—」、『北東アジア研究』第22号、81-106頁、2012年
- 福原裕二「竹島／独島研究における新視角からみる北東アジアの一断面」、『北東アジア研究』第22号、37-55頁、2012年
- 福原裕二「漁業問題と領土問題の交錯」、『北東アジア研究』第23号、65-77頁、2012年
- 李曉東「立憲の中国的論理とその源泉」政治思想学会『政治思想研究』第13号、214-244頁、2013年
- 福原裕二「植民地朝鮮期の鬱陵島日本人社会—鬱陵島友会と『鬱陵島友会報』を中心として—」、『総合政策論叢』第25号、63-79頁、2013年
- 井上厚史「封印された朝鮮儒教」、『現代思想』vol.42/4、114-126頁、青土社、2014年

【著作】

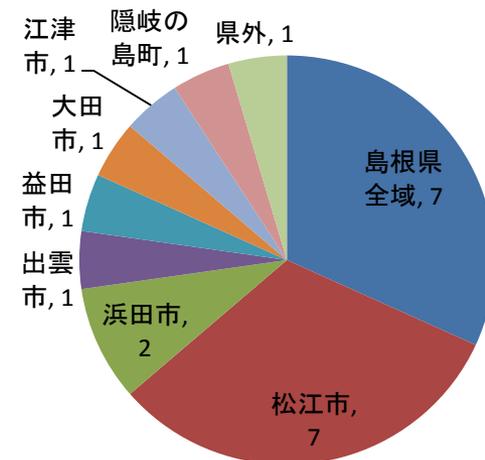
- 宇野重昭・増田祐司編『北東アジア地域研究序説』国際書院、2000年
- 宇野重昭・増田祐司編『北東アジア世界の形成と展開』日本評論社、2002年
- 宇野重昭編『北東アジアにおける中国と日本』国際書院、2003年
- 島根県立大学西周研究会『西周と日本の近代』ベリカン社、2005年
- 宇野重昭・別枝行夫編『日本・中国からみた朝鮮半島問題』国際書院、2007年
- 宇野重昭・別枝行夫・福原裕二編『日本・中国からみた朝鮮半島問題』国際書院、2007年
- 深町英夫編『中国政治体制100年—何が求められてきたのか』中央大学出版部、2009年
- 上田崇仁・崔錫榮他編『交渉する東アジア』風響社、2010年
- 姫田光義編『北・東北アジア地域交流史』有斐閣、2012年
- 趙景達・原田敬一他編『講座東アジアの知識人』第2巻、有志舎、2013年
- 宇野重昭『北東アジア学への道』国際書院、2012年
- 飯田泰三・李曉東編『転形期における中国と日本』国際書院、2012年
- 福原裕二『たけしまに暮らした日本人たち 鬱陵島の近代史』風響社、2013年
- 石田徹『近代移行期の日朝関係—国交刷新をめぐる日朝双方の論理—』溪水社、2013年
- 『北東アジア研究』(別冊第2号)特集「東アジア共同体の可能性」、島根県立大学北東アジア地域研究センター、2013年
- 金日宇・文素然著(井上治・石田徹訳)『韓国・済州島と遊牧騎馬文化』明石書店、2015年
- 福原裕二『北東アジアと朝鮮半島研究』国際書院、2015年
- 飯田泰三編『北東アジアの地域交流』国際書院、2015年
- 『北東アジア研究』27号特集「日朝関係を展望する—北東アジアにおける蔚山と島根の絆—」、島根県立大学北東アジア地域研究センター、2016年3月刊行予定

3. 地域貢献 (1)自治体等連携協定

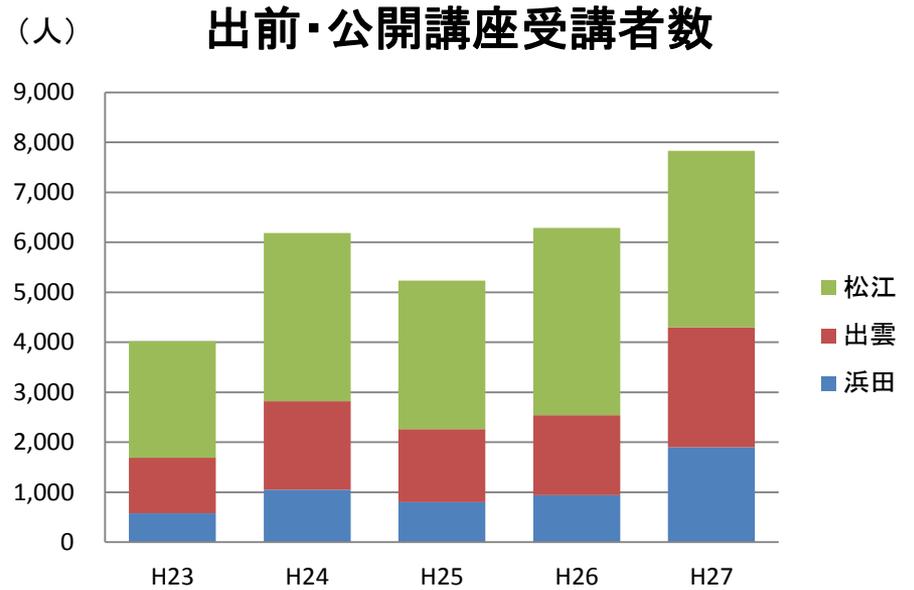
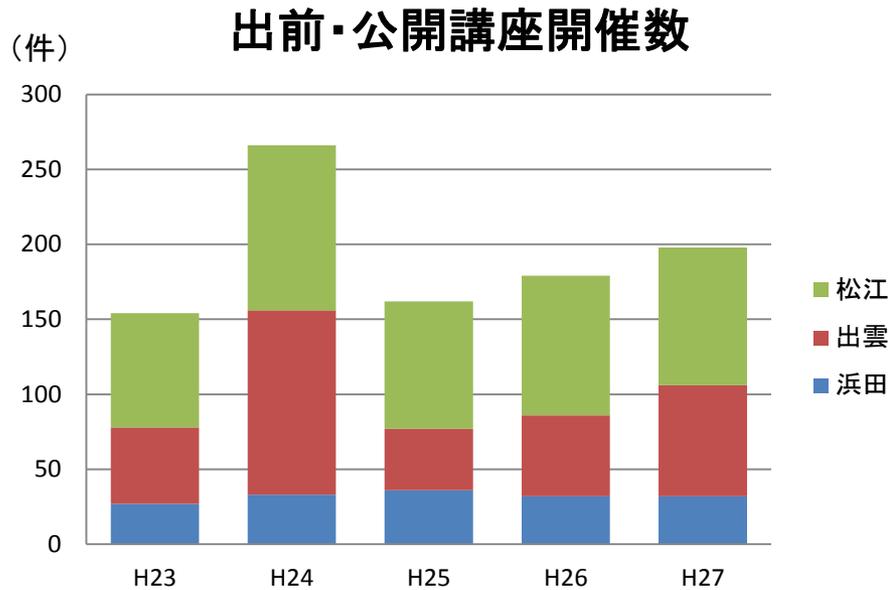
2016年5月1日現在

区分	自治体・学校	主な連携実績	
		年度	連携内容
法人	浜田市	2007～	中学校学習支援事業、浜田市との共同研究等
	松江市	2007～	特別授業、キャンパス見学、模擬授業
	島根県（中山間地域研究センター）	2008～	連携大学院、共同研究（JST委託事業）
	島根大学	2009～	FDセンター合同研修
	出雲市	2009～	新型インフルエンザ対策等
	公益財団法人しまね国際センター	2012～	留学生関連行事等
	益田市	2013～	まちづくり、国際交流、人材育成等
	社会福祉法人島根県社会福祉協議会	2013～	災害ボランティア活動に係る相互連携
県立大学	東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会	2014～ 2020.12	グローバル人材育成など
浜田	県立浜田高等学校	2004～	各種部活、サークルの学園祭相互参加
		2007～	ゼミ開放事業
	県立江津高等学校	2007～	各種部活・サークルの学園祭相互参加、ゼミ開放事業
出雲	石見銀山テレビ放送株式会社	2009～	出前講座の番組収録、放送等
	今井書店株式会社	2010～	学生ボランティアマイレージ制度
	島根県（病院局）	2011～	看護連携型ユニフィケーション事業（看護の学習会、患者や家族のケア、看護教育、看護研究に関すること）
	隠岐の島町	2015～	人材育成、共同研究、知識基盤社会の形成など
	公益社団法人 島根県看護協会	2015～	県内看護職の人材育成や生涯教育、保健医療や看護教育に関する施策等
松江	県立松江商業高等学校	2006～	あいさつ運動、総合学習協力、資格検定についての相互交流
	市立湖南中学校		
	市立乃木小学校	2007～	読み聞かせの実践、キャンパス見学、特別授業、昔遊び指導、食育実践指導
	市立幼保園のぎ		
	学校法人大多和学園	2013～	スーパーサイエンスハイスクール事業、教育についての情報交換及び交流
島根県、県内高等教育機関	2015～	雇用創出及び若者定住（COC+事業）	

地域別連携先



3. 地域貢献（2） 出前・公開講座



○出前・公開講座開催数 (単位:件)

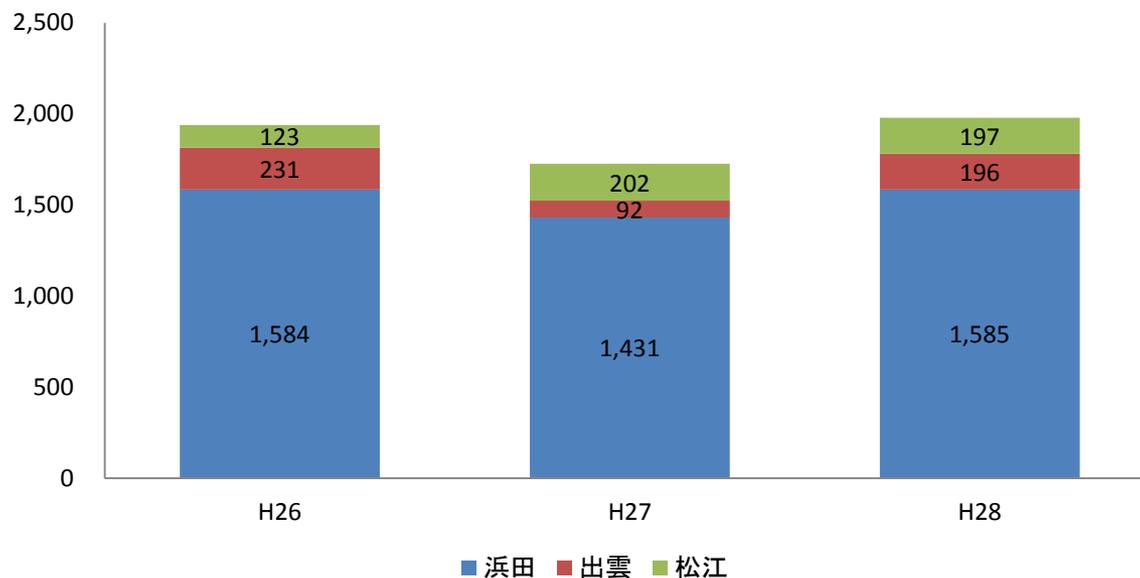
	H23	H24	H25	H26	H27
浜田	27	33	36	32	32
出雲	51	123	41	54	74
松江	76	110	85	93	92
合計	154	266	162	179	198

○出前・公開講座受講者数 (単位:人)

	H23	H24	H25	H26	H27
浜田	578	1,049	804	944	1,898
出雲	1,109	1,768	1,456	1,596	2,401
松江	2,332	3,367	2,971	3,746	3,531
合計	4,019	6,184	5,231	6,286	7,830

県大データ 52ページより

3. 地域貢献 (3) 学生ボランティア参加者数



(単位:人)

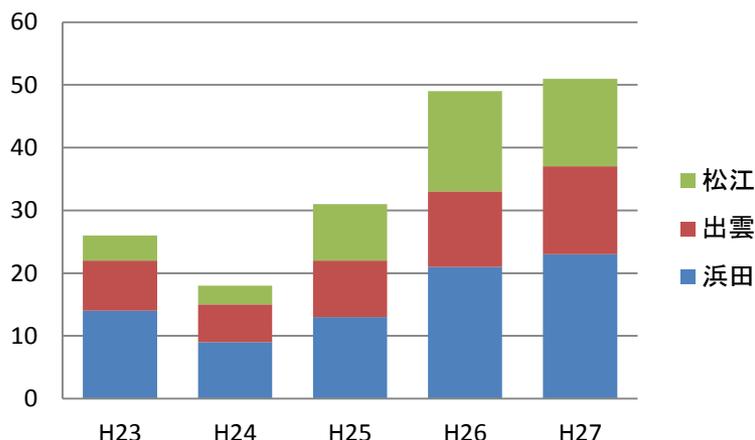
	H26	H27	H28
浜田	1,584	1,431	1,585
出雲	231	92	196
松江	123	202	197
合計	1,938	1,725	1,978

※のべ数、事務局へ報告があったもののみ計上。

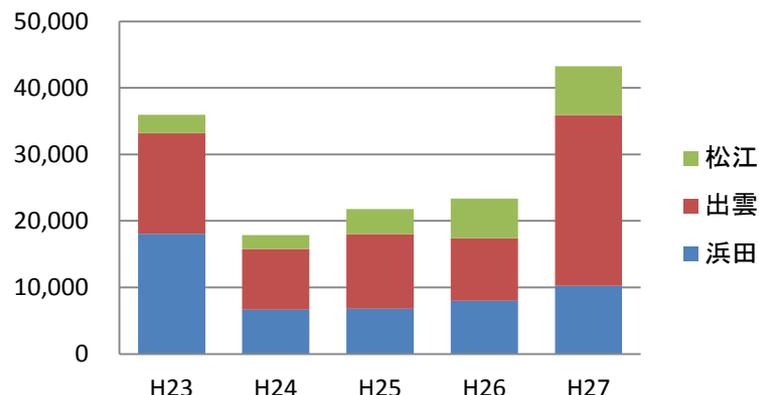
大学集計数による

3. 地域貢献 (4) 地域貢献のための研究 (受託研究、共同研究、国補助事業など)【一部再掲】

件数



金額(千円)



○件数

単位: 件

	H23	H24	H25	H26	H27	合計
浜田	14	9	13	21	23	101
出雲	8	6	9	12	14	59
松江	4	3	9	16	14	51
合計	26	18	31	49	51	211

○金額

単位: 千円

	H23	H24	H25	H26	H27	合計
浜田	18,060	6,668	6,807	8,010	10,241	82,485
出雲	15,117	9,105	11,215	9,398	25,653	81,790
松江	2,760	2,085	3,743	5,975	7,378	23,866
合計	35,937	17,858	21,765	23,383	43,272	188,141

3. 地域貢献 (5) 社会人学び直し

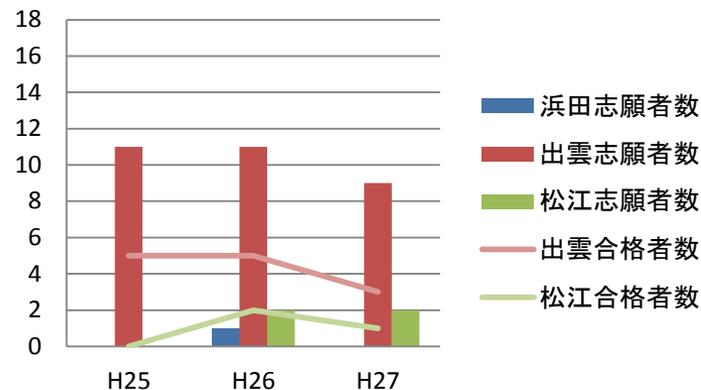
○社会人入試制度

・・・学生と同様に大学に在籍し、単位を取得する。

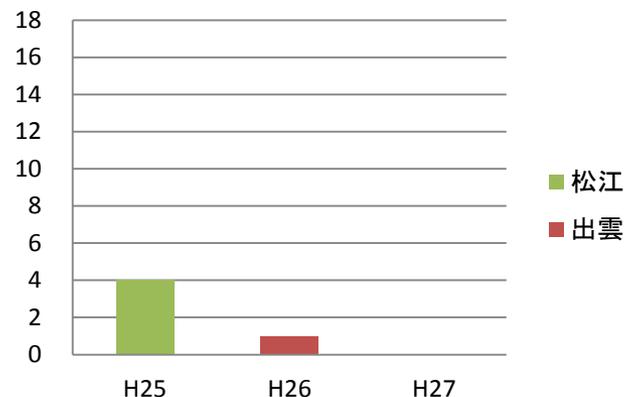
(単位:人)

	H25		H26		H27	
	志願	合格	志願	合格	志願	合格
浜田	0	0	1	0	0	0
出雲	11	5	11	5	9	3
松江	0	0	2	2	2	1
合計	11	5	14	7	11	4

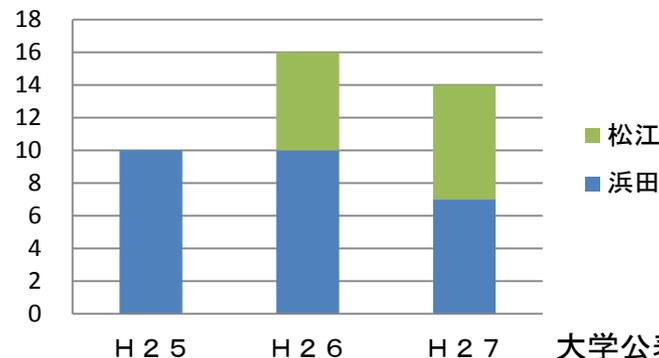
社会人入試制度実績



科目等履修生人数



聴講生人数



○科目等履修生

・・・希望する科目を受講し、単位を取得できる。

(単位:人)

	H25	H26	H27
浜田	0	0	0
出雲	0	1	0
松江	4	0	0
合計	4	1	0

○聴講生

・・・希望する科目を受講するが、単位の取得はできない。

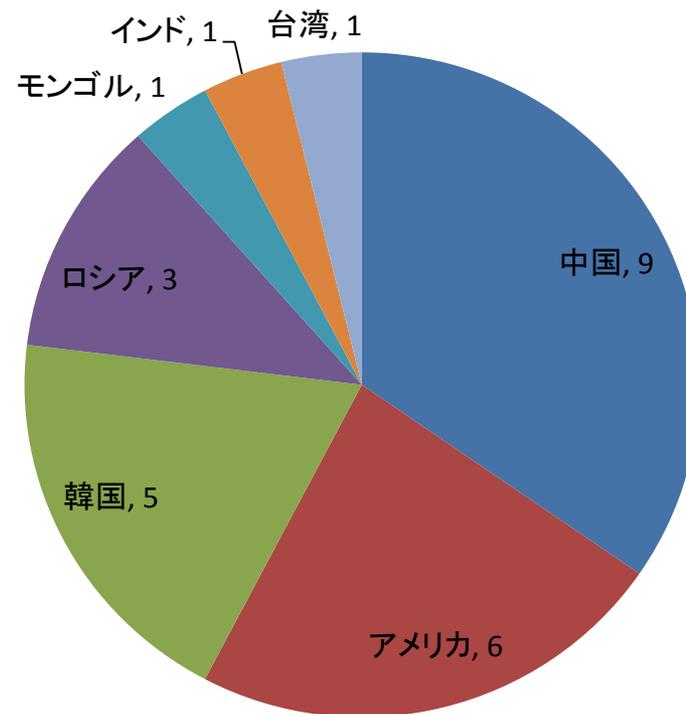
(単位:人)

	H25	H26	H27
浜田	10	10	7
出雲	0	0	0
松江	0	6	7
合計	10	16	14

4. 国際交流（交流協定校等）

H28.5.1現在

浜田	中国	9
	アメリカ	6
	韓国	5
	ロシア	3
	モンゴル	1
	インド	1
	台湾	1
出雲	アメリカ	1
松江	アメリカ	1
合計		28

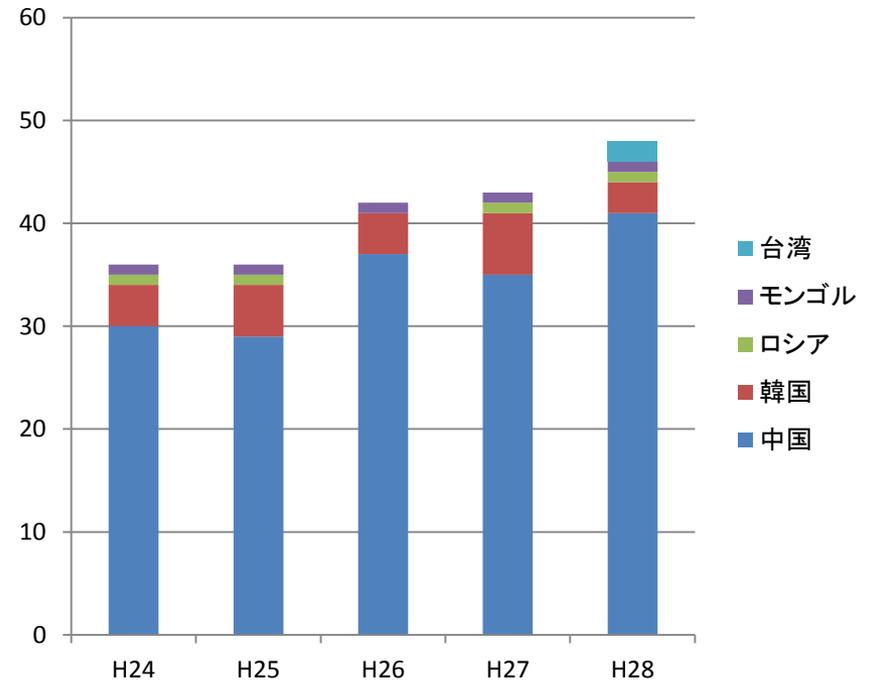


県大データ 61ページより

4. 国際交流 (2) 留学生受入

各年度5月1日時点の在籍者数 (単位：人)

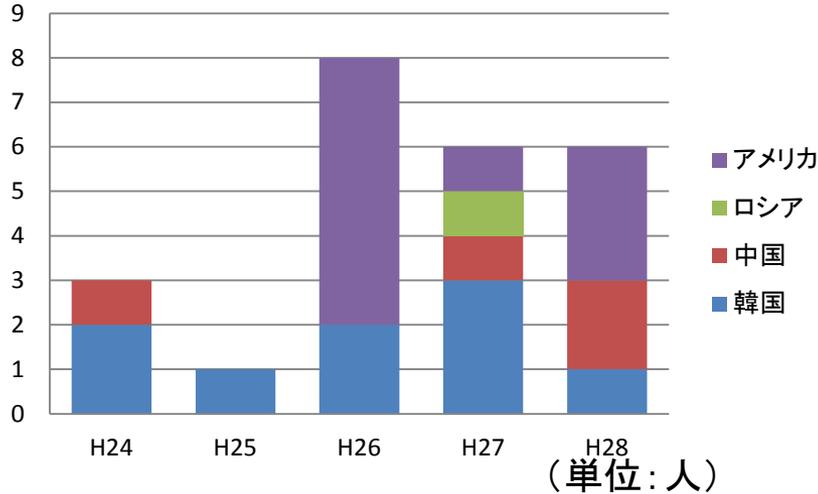
年度		H24	H25	H26	H27	H28
国籍	中国	11	10	9	9	12
	台湾	0	0	0	0	2
	韓国	1	3	2	4	1
総合政策学部(交換留学生含む)		12	13	11	13	15
国籍	中国	19	19	28	25	28
	韓国	2	2	2	2	2
	ロシア	1	1	0	0	1
	モンゴル	0	1	1	1	1
	大学院(交換留学生含む)	22	23	31	28	32
国籍	中国	0	0	0	1	1
	韓国	1	0	0	0	0
	ロシア	0	0	0	1	0
	モンゴル	1	0	0	0	0
研究生		2	0	0	2	1
合計		36	36	42	43	48
中国		30	29	37	35	41
韓国		4	5	4	6	3
ロシア		1	1	0	1	1
モンゴル		1	1	1	1	1
台湾		0	0	0	0	2



県大データ 13ページより

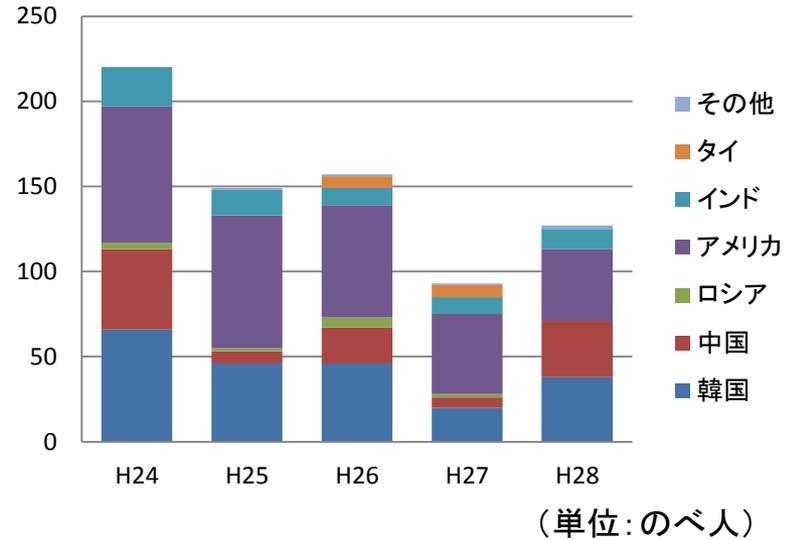
4. 国際交流 (3) 留学・海外研修

外国への留学状況



	H24	H25	H26	H27	H28
韓国	2	1	2	3	1
中国	1	0	0	1	2
ロシア	0	0	0	1	0
アメリカ	0	0	6	1	3
合計	3	1	8	6	6

海外研修の状況

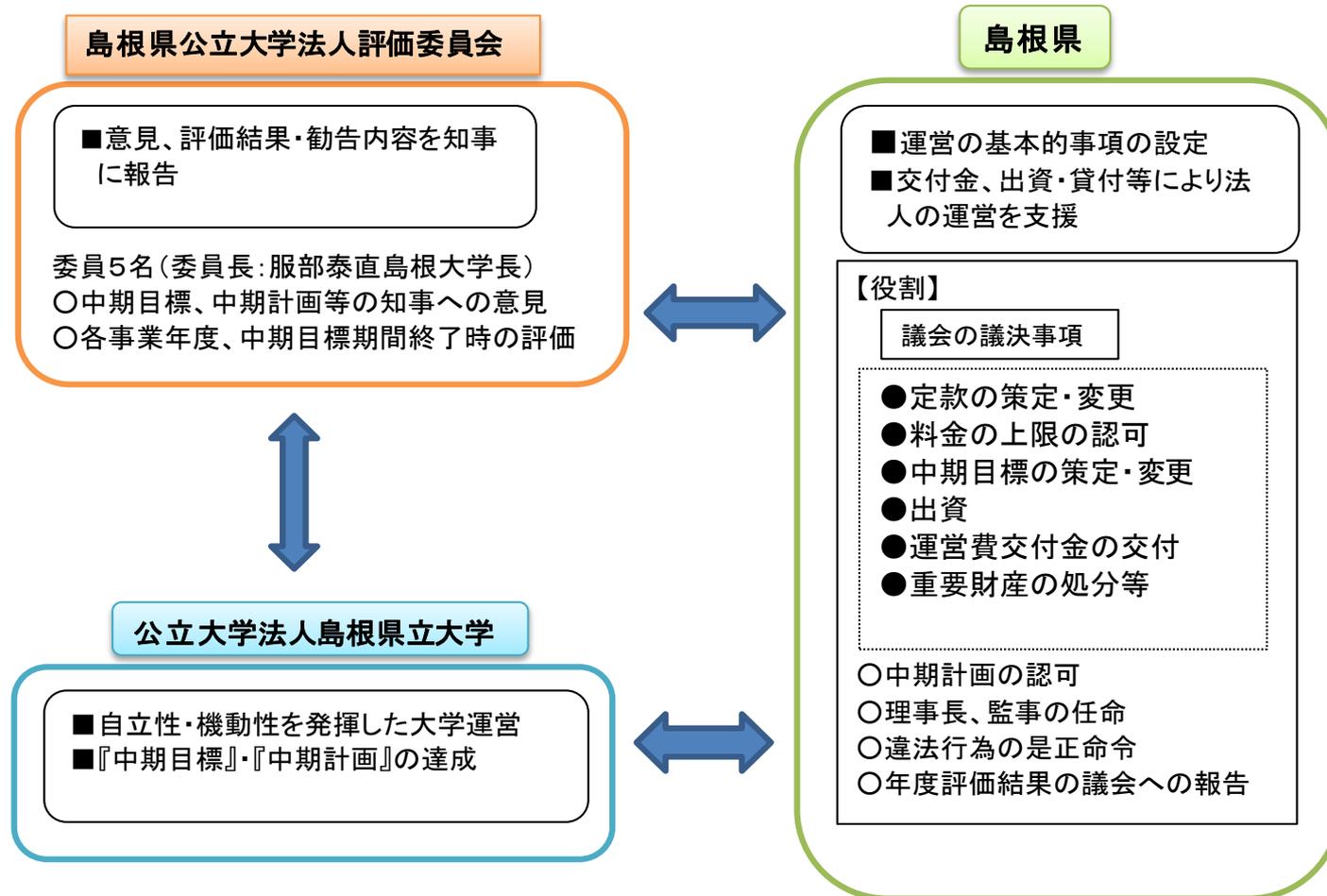


	H24	H25	H26	H27	H28
韓国	66	46	46	20	38
中国	47	7	21	6	33
ロシア	4	2	6	2	0
アメリカ	80	78	66	47	42
インド	23	15	10	10	12
タイ	0	0	7	7	5
オーストラリア	4	5	0	2	0
その他	0	1	1	1	2
合計	224	154	157	95	132

県大データ 13, 15ページより

5. 外部評価 (1) 県評価委員会

地方独立行政法人評価委員会の役割



5. 外部評価 (2) 認証評価機関

- 全ての大学は、学校教育法により7年に一度、文部科学大臣が認証した「認証評価機関」である(財)大学基準協会から、大学・短期大学基準に適合しているか認定を受ける必要がある。
- 同協会より、島根県立大学は平成24年度に、島根県立大学短期大学部は平成23年度に、大学・短期大学基準に適合していると認定を受けている。

V 島根県立大学浜田キャンパス 将来構想検討結果報告書

島根県立大学浜田キャンパス 将来構想検討結果報告書

1. 検討の経緯

・H26年8月

島根県立大学支援協議会から地域政策
学部地域政策学科の増設要望

・H28年6月

支援協議会の要望を契機として、浜田
キャンパス将来構想検討委員会におい
て、大学の魅力向上策等の検討を行い、
その検討結果を学長に答申

・H29年3月

島根県立大学法人改革検討委員会にお
いて、上記答申内容等も踏まえながら、「島
根県立大学浜田キャンパス将来構想検討
結果報告書」を取りまとめ

2. 報告書の概要

(1) 現状と課題の整理

① 学部教育の現状と課題ーグローバル人材の育成ー

ア 現状

文科省補助事業を活用した地域体験型学習、「しまね
地域マイスター」認定制度等を実施

イ 課題

補助事業終了を見据えた体制整備と、より実践的かつ
特徴的な地域指向教育が必要

② 研究活動の現状と課題ー北東アジア研究と地域研究ー

ア 現状

地域研究の推進機関がないため、北東アジア研究と
比較し体制・実績で劣る

イ 課題

地域志向教育に説得力を持たせるため、地域研究の
充実強化が不可欠

島根県立大学浜田キャンパス 将来構想検討結果報告書

(2) 将来構想を定める上での検討軸

- ① 人材の地元定着
地域課題の解決能力を有する実践的な人材を
県内企業・自治体等へ輩出
- ② グローカル人材の育成
国際的な視野を持ち地域で活躍できるグローカ
ル人材の育成
- ③ 差別化
競合大学、特に島根大学との差別化
- ④ 組織体制の強化
地域志向教育や地域研究をサポートする組織
体制の整備
- ⑤ 見える化
教育内容や研究成果が地域で実感を持って認
識されるよう積極的な情報発信を展開
- ⑥ 持続性
18歳人口の減少等の動向を考慮しながら、中
長期的に安定的かつ持続的な大学運営

(3) まとめ

- ① 安定的かつ持続的な大学運営等の観点から、
学部・学科の組織形態、学生定員数は現状を維
持する。
- ② 「地域」と「国際」のそれぞれで、より実践的で特
色あるカリキュラムとなるよう改革を行う。
- ③ 専任スタッフを配置した「しまね地域共創研究
センター(仮称)」を整備し、地域志向型教育の充
実と地域研究の強化推進を図る。
- ④ 「地域」と「国際」を教育研究の二本柱とし、国内
地域をフィールドとした「しまね地域共創研究セン
ター(仮称)」と、北東アジア・国際をフィールドとし
た「北東アジア地域研究センター」とが連携して学
部教育及び大学院教育を通じたグローバル人材
の育成を行う。